

緑区制 50周年 記念誌

みどり^{いろど}彩り 明日^{あす}へのつながり

緑区制 50周年 記念誌

みどり^{いろど}彩り 明日^{あす}へのつながり

目次

発刊にあたって

- 緑区制50周年記念誌
発刊にあたって …… 3
- 緑区制50周年記念ロゴマーク
およびキャッチフレーズ …… 4

緑区ゆかりの著名人インタビュー

- 山崎洋子さんインタビュー …… 5

第1章 緑区制50周年を迎えて

- 緑区制50周年記念事業報告
 - 緑区制50周年記念事業
実行委員会主催事業 …… 6
 - 緑区役所主催事業 …… 14
 - 地域事業 …… 20
 - 緑消防署記念事業 …… 21
 - 冠事業一覧 …… 22
 - PR取組一覧 …… 23
 - 50周年記念グッズ紹介 …… 24
- コラム 愛されて10年「ミドリ」 …… 25

第2章 緑区の皆さん

- 平成31年・令和元年生まれの
赤ちゃんを紹介します …… 26
- 緑区の小学生に聞いた将来の夢 …… 27
- 緑区の中学生・高校生に聞いた
将来の夢 …… 28
- 緑区の大学生に聞いた将来の夢 …… 29
- 私たち、緑区制50周年の年に
結婚しました！ …… 30

- 区民の皆さんと協働する健康づくり …… 32
- 障害児・者を支え共にあゆむ皆さん …… 34
- 子どもたちの学びを支える皆さん …… 36
- 高齢化社会と共にあゆみ、
活動する皆さん …… 37
- ペットとの暮らしを支える皆さん …… 38
- コラム 緑区の木・緑区の花 …… 39

第3章 わがまち 緑区

- 緑区フォトコンテスト作品集 …… 40
- 緑区の伝統文化・民俗 …… 42
- 地域のいこい 緑区の公園 …… 44
- 緑区遺産 …… 46

第4章 緑区のいま・むかし

- 緑区の今昔写真 …… 48
- 緑区制50周年のあゆみ …… 52
- 緑区 まちの変遷 …… 54

御協賛いただいた皆様

- 御協賛いただいた皆様 …… 55

資料編

- 緑区制50周年記念事業
実行委員会名簿 …… 58

委員長挨拶



私たちのまち緑区は区制50周年を迎えました。地域の皆様、地元企業の皆様のご参加をいただき、緑区制50周年記念事業実行委員会を組織し、この記念すべき年をお祝いするべく、緑区らしい様々な記念事業を進めてきました。これまでの皆様のご協力に感謝申し上げます。

この記念誌は区制50周年を祝うとともに、今の緑区の様子、区民の皆様の想いや、願いを収録するとともに、記念事業を記録し、次の世代へ伝えるべく作成しました。この記念誌が皆様の手元にあって、いつまでも懐かしく振り返っていただけるものとなるよう願っています。

緑区制50周年記念事業実行委員会 委員長

塚田 順一

区長挨拶



令和元年10月1日に緑区は区制50周年を迎えました。

緑区制50周年記念事業実行委員会では、記念事業のコンセプトやイベントの内容について検討されてきました。

キャッチフレーズは「みどり彩り 明日へのつながり」です。これまでの歴史を築いてきた先人達に敬意を表しつつ、50周年の節目を祝うとともに、将来を担う次世代につないでいくために、さらに魅力あるまちを目指して新たな一歩を踏み出していこう、そのような思いが込められています。

記念事業を通じて築かれた絆を大切にしながら、地域の皆様、地元企業の皆様と手を携えて、力強く、新たな時代への一歩を踏み出していきたいと考えています。

緑区長

小野崎 信之

緑区制50周年記念 ロゴマークおよびキャッチフレーズ

緑区制50周年を記念し、ロゴマークおよびキャッチフレーズを制定しました。

ロゴマークおよびキャッチフレーズに込められた願い

緑区制50周年記念ロゴマーク



潤沢な森、里山を喚起させる木々と、田んぼを中心に、浜なしを収穫物として喚起させます。

木々の緑の丸は多様な人々も表現しており、畑と緑、月の様な太陽の様な浜なし。様々な丸の配置に多様性が表されています。

キャッチフレーズ

みどり^{いろど}彩り 明日^{あす}へのつながり

区制50周年を迎えるにあたり、これまで築き上げられた緑区の豊かな自然や農の営み、生き活きとした日々の暮らし、そして培われてきた地域の絆といった『彩り』を、緑区の明日を担う次世代に繋いでいこうという意味を込めました。

より多くの方に愛されるキャッチフレーズになるよう、言葉の流れも意識しました。

ロゴマークおよびキャッチフレーズの制定まで

平成29年10月から平成30年1月にかけて、緑区内で開催されたイベントや、緑区役所、緑図書館で区民の皆さんに「緑区の好きなおとこ」のアンケートを実施しました。

その結果、「森」「里山」「浜なし」「野菜」などの回答を多数得られました。

アンケートの結果を受けて、緑区の魅力や特徴が伝わるようなロゴマークおよびキャッチフレーズを制定しました。

牧歌的で のんびりとした環境で

山崎 洋子

京都府宮津市生まれ、15歳の時に東京へ。結婚を機に中山へと移り住んだのは、32歳の時だ。現在は、金沢区で暮らす。58歳までの26年間を緑区で過ごしたという。「人生で一番長く住んだ場所ですね。のんびりとしていて牧歌的。静かで落ち着いた環境でした」と当時を振り返った。よく散歩していたというのは恩田川沿い。「土手には、クコの木などがたくさん生えていました。葉っぱを摘ませて頂き、楽しませていただきましたね」と懐かしむ。そんな執筆に専念できる環境もあってか、1986年、デビュー作の推理小説「花園の迷宮」で推理作家の登竜門である江戸川乱歩賞を受賞。新聞や雑誌の多くの記者たちが取材のために中山の自宅へと駆け付けた。「慌てて、家を片付けました」

と笑った。「近所の人とは良い距離でお付き合いしていました。皆さん、『おめでとう!』と言ってくださって嬉しかったですね」。そんな緑区での懐かしい思い出は今でも多く残っているようだ。

緑区を離れて随分経つので、緑区制50周年記念誌のインタビュー依頼が来たときは、正直驚いたという。それでも、横浜線で中山付近を通る時には、懐かしさからか、窓に張り付くようにして風景を見ているそうだ。「緑区は、その名の通り、緑がとて豊か。豊かな緑を誇りにできる街づくりをこれからも続けていってほしい。自然だけでなく、横浜中心地より古い歴史も多くある。ぜひ、後世に残して行ってほしい。緑区制50周年、本当におめでとうございます」とメッセージを送った。



プロフィール

やまざき ようこ

1947年8月6日生まれ。京都府出身。コピーライター、脚本家を経て、小説家に。1986年、「花園の迷宮」で第32回江戸川乱歩賞を受賞。1999年には、初のノンフィクション『天使はブルースを歌う』を刊行。2010年、NHK地域放送文化賞を受賞。2019年5月には、「女たちのアンダーグラウンド 戦後横浜の光と闇」を上梓するなど執筆活動を続けている。

第1章 緑区制50周年を迎えて

緑区制50周年を迎え、実行委員会主催事業、緑区役所主催事業、冠事業、地域事業など、多彩な記念事業が緑区各所で開催されました。

緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

緑区制50周年記念式典・講演会

昭和44年に緑区が誕生し、緑区制50周年を迎えたことを祝して、記念式典・講演会を開催しました。

● 開催日：令和元年10月5日(土) 13時30分～16時 ● 会場：緑公会堂 ● 参加者：426人

記念式典

- 開会の辞：緑区制50周年記念事業実行委員会総務部会長 井上敏正
- 横浜市歌斉唱
- 式辞：緑区制50周年記念事業実行委員会委員長 塚田順一、
緑区長 小野崎信之
- 記念事業報告：緑区制50周年記念事業実行委員会記念事業部会長 木村赳
- 緑区制50周年記念「こもれび躍るふれあいのまちづくり顕彰」表彰式



【受賞者】

福田昌子さん(東本郷地区連合自治会御推薦)	苅谷洋さん(三保地区連合自治会御推薦)
狩野陽二さん(鴨居連合自治会御推薦)	田中賢さん(新治西部地区連合自治会御推薦)
三浦正男さん(竹山連合自治会御推薦)	橋川茂子さん(十日市場団地連合自治会御推薦)
長谷川貞栄さん(白山地区連合自治会御推薦)	岡島峯子さん(霧が丘連合自治会御推薦)
宮治俊雄さん(新治中部地区連合自治会御推薦)	近藤光男さん(長津田自治連合会御推薦)
上原精市さん(山下連合自治会御推薦)	

- 閉会の辞：緑区制50周年記念事業実行委員会副委員長 杉山郡啓

記念講演会「この地球に生きる～いま考える私たちの未来～」

奇跡の星といわれる地球に生きる私たち。これからの地球とこれからの私たちについて、惑星探査機はやぶさのプロジェクトで中心的な役割を果たした的川泰宣先生(宇宙航空研究開発機構(JAXA)名誉教授、はまぎんこども宇宙科学館館長)による記念講演会を開催しました。

はやぶさ初号機が探査した小惑星「イトカワ」には「鴨居(カモイ)」と名付けられたクレーターがあります。

はやぶさ初号機を打ち上げた当時、設計や製作、運用に深く関わっていた「NEC横浜事業場」がJR横浜線の鴨居駅近くにあったというご縁から、的川先生にご講演をいただきました。

はやぶさの打ち上げと、太陽系や地球、私たち生命の起源を探るための小惑星のサンプル採集という世界初のチャレンジに、厳しい予算の中であらゆるアイデアを駆使し、チームとして個人の力を生かしながら取り組まれたというユーモアあふれるお話に、未来への勇気や希望をいただきました。

また、「ふるさと」の歌とともに月探査機「かぐや」の地球の出の映像でご講演は締めくくられ、会場全体が感動で包まれました。



的川泰宣先生

緑区制50周年記念祝賀会

緑区制50周年を皆さんと共に祝う会を開催しました。

● 開催日：令和元年10月5日(土) 17時30分～19時 ● 会場：新横浜国際ホテル ● 参加者：306人

- 開会の辞：緑区制50周年記念事業実行委員会副委員長 奥津守
- 横浜市歌斉唱：指揮 鴨居地区民生委員児童委員協議会会長 鈴木道子さん、ピアノ 山崎早登美さん
- 式辞：緑区制50周年記念事業実行委員会委員長 塚田順一、緑区長 小野崎信之
- 鏡開き：緑区制50周年記念事業実行委員会会計 中野喜久一、監事 岡部一郎、監事 野中文字子、
緑警察署長 磯野正彦、緑消防署長 中村榮宏
- 乾杯：緑区制50周年記念事業実行委員会会計 松浦正義
- 祝宴
- 緑区制50周年記念演奏：ヴァイオリン 保科結太さん、ピアノ 山崎早登美さん
- 閉会の辞：緑区制50周年記念事業実行委員会副委員長 鈴木正雄
- 司会：緑区制50周年記念事業実行委員会副委員長 横塚靖子



緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

ミニミニミドリ
子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori

次世代を担う子どもたちが、まちづくりに携わる楽しさを知ることを目的として、「子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori」を開催しました。

Mini Mini Midoriの概要

Mini Mini Midoriの区民(参加者)は、小学1年生以上19歳以下の、保護者の付添なしで行動できる人です。働くのも、遊ぶのも子どもたち。お店や区役所などで働くとき、まちで使えるお金「ミドル(ミ\$)」を稼げ、まちで買い物ができたり、遊んだりできます。

大人や小さいお子さんは、「シドル(シ\$)」を買って、お買い物などを楽しめます。

子ども実行委員会の活動 (平成31年1月~令和元年8月)

8月末現在: 38人 【内訳】小学4年生16人、小学5年生15人、小学6年生6人、中学1年生1人

1月	20日	子ども実行委員説明会
2月	10日	都筑区の子どものまち(ミニニコハマシティ)の企画運営会議に参加
3月	17・24日	ミニニコハマシティ企画運営会議へ参加
	30・31日	ミニニコハマシティ当日へ参加
4月		
5月	26日	子ども実行委員会① ●2~3月の振り返り ●どんなまちにしたいかを考える ●まちと、お金の名前を決める
6月	30日	子ども実行委員会② ●まち全体と、その中で自分がしたいことを考える ●仕事ごとにグループを作る
7月	28日	子ども実行委員会③ ●ミドル(ミ\$)の価値(30分働いた給料)を考える ●代表は「区長」とし、「区長・副区長」を選ぶため、1人あたり2票投票とする
8月	18日	子ども実行委員会④ ●子ども実行委員の「給料」のほか、お店の売上やまちに来る人にかかる「税金」について考える ●グループ毎にお仕事の準備を行う
	23日	前日準備
	24・25日	Mini Mini Midori当日 ●お仕事の責任者や店長などとして、活動する

まちの企画・運営を行う「子ども実行委員」を、小学3年生以上(1月時点)を対象として公募しました。

子どものまちについて知るため、ミニニコハマシティ(都筑区)に参加しました。



子どものまちの名前は、Mini Mini Midori(MMM)に決定しました。

どんなまちにしたいか、みんなの意見を集めました。

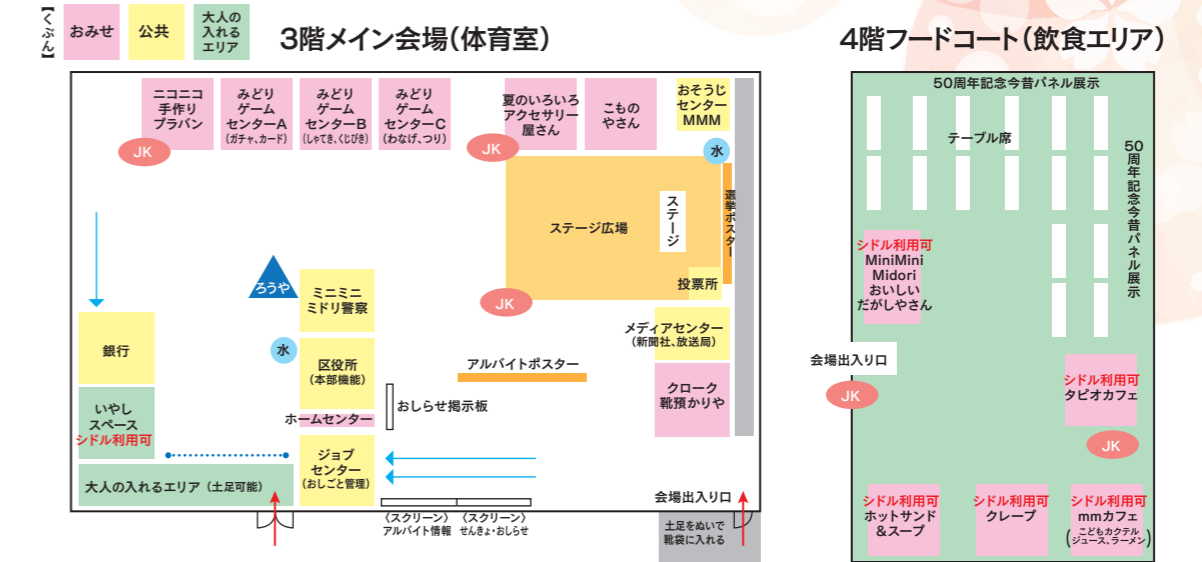
まちのルールを、意見をだしあい決めました。

お仕事のグループごとに、アルバイトのお仕事を考え、売るものやサービスの値段を決めました。

緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

開催当日

- 日時: 8月24日(土) 11時30分~16時 8月25日(日) 10時~15時
- 会場: 中山地区センター(緑区中山2丁目1-1 ハーモニーみどり3・4階)
- 参加者: 8月24日 約290人 8月25日 約300人



Mini Mini Midoriの代表を決める、「区長選挙」を実施しました!

立候補者が3人出て、「立会演説会」を各日1回(計2回)実施しました。
参加者による投票の結果、初代区長「ゆえさん」、副区長「ももさん」、副々区長「たかちかさん」となりました。

右: 副区長 ももさん
中央: 区長 ゆえさん
左: 副々区長 たかちかさん

緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

緑区民まつり2019 ～緑と森のフェスティバル～

緑区が誕生してからのあゆみを振り返りながら、50周年をお祝いすると共に、これまで育まれてきた大切な絆やふるさとへの思いを区民の皆さんと共に次世代へと引き継いでいくため、「あゆみ 育むふるさと みどり ～次世代につなぐ区民まつり～」をメインテーマに、緑区民まつり実行委員会と緑区制50周年記念事業実行委員会の主催で開催されました。

● 開催日：令和元年10月20日(日) 10時～15時 ● 会場：県立四季の森公園

- 北部4区(緑、港北、青葉、都筑)のマスコットキャラクター onステージ「緑区のあゆみ」
- 横浜音祭りダンスパフォーマンス
- 横浜市消防音楽隊(金管アンサンブル隊)
- 緑区内各地区からの推薦団体のパフォーマンス
- パノラマ観覧席 ■ 働く車大集合



青葉区マスコットなしかちゃん、都筑区マスコットキャラクター「つづき あい」、港北区キャラクター 港北区ミスキー、緑区キャラクター ミドリん

※その他、環境・消費生活エリア、防災・こども動物園エリア、ステージイベント・飲食エリア、スポーツ・健康づくりエリアなど各エリアでさまざまな企画・イベントが開催されました。

記念ステージイベントに登場してくれた地域の推薦団体の皆さんにインタビュー



三保小学校ハミングバード(三保地区連合自治会推薦)

全力を出し切って日頃の練習の成果を發揮し、楽しく演奏できました。演奏している時に皆さんが手拍子してくれたのも嬉しかったです。自然が豊かなこの緑区でマーチングができる喜びを大切にしたいです。マーチングバンド全国大会の金賞を目指してこれからも頑張ります。いつまでもこれからも三保小学校ハミングバードを応援してください。演奏を聞きに来てくれた皆さん、ありがとうございました。

鴨居囃子連中(鴨居連合自治会推薦)

拙い演奏でしたが、50周年記念のステージで無事に披露できてよかったです。高校生・小学生が演じていましたが、非常に頑張ってくれました。まつりの前日も20時頃まで練習し、熱が入りすぎてしまったほどです。高校生8人に、小学生6人が所属し、若手も育っていますので、地域の行事などで積極的に披露していきたいです。生まれてからずっと緑区に住んでいます。そしてこれからも住み続けるでしょう。緑区そして緑区の伝統芸能に非常に愛着がありますから。



みどりフォーム・バトン(竹山連合自治会推薦)

- お客さんを前にとても緊張したけれど、拍手をもらってすごく嬉しかったしテンションが上がりました！練習ではバトンを落としてしまったけれど、本番では落とさずに最後まで笑顔で演技ができて嬉しかったです。(出演者のお子さん)
- 今日自分たちに100点を付けたいです。今後まだまだイベントが続くので頑張ります。子どもの頃から緑区で育ち、子どもと一緒にダンスの活動ができてとても嬉しいです。子ども達と一緒に緑区が盛り上がるように今後も活動していきたいです。(関係者の大人)

レイナニ・フラ(白山地区連合自治会推薦)

本番で緊張してしまい、気持ちが落ち着くまでいくつかミスをしてしまいましたが、楽しくフラダンスを踊ることができました。今年は横浜文化体育館など大きな会場でもフラダンスを踊りました。これからもさまざまなところでフラダンスのよさを広めていきたいです。長くこの町に住んでいますが、とても住みやすい町だと思います。これからもお友達と仲良く、楽しく緑区で過ごしていきたいです。



霧が丘連合自治会

地域と一体になりながら、子ども達と一緒にステージに立ち、霧が丘ソーランを元気に踊れて楽しかったです。今日は大成功でした！霧が丘地区は地域と学校が一体になり、学校行事や地域行事で霧が丘ソーランを踊っています。今後も地域でこの霧が丘ソーランを継承し、大人になっても大切にしていきたいです。緑豊かな自然を大切に、子どもが伸びやかな成長ができるこの緑区を大事にしていきたいですね。

東京横浜三線の会(新治西部地区連合自治会推薦)

天気がよくて、お客さんがいっぱいいてうれしかったです。毎年参加していますが、今年もお客さんが楽しそうに聞いてくれていて、こちらからもとても楽しく、いい気持ちでした。日頃の練習の成果も發揮できたと思います。地域の「敬老の日イベント」にも、区民まつりにも毎年呼んでいただき、本当にありがたいです。緑区は緑が多いし、人も優しく大好きです。この区民まつりをぜひ続けてほしいと思いますし、出続けたいと思います。



SWARM(スワーム)(長津田自治連合会推薦)

今回地域の区制50周年という記念すべきイベントに出演できて大変嬉しく思っており、感謝しています。出演予定の生徒が運動会と重なり出演できなかったことは残念でしたが、次回も地域でイベントがあればぜひ参加したいです。緑区は地域の繋がりが強く、活動を通して地域から応援してもらっています。地域密着のサークルとしてSWARMが広く認知されるよう、子どもと大人と一緒に今後楽しく活動していきたいです。

山下小学校(山下連合自治会推薦)

学年の中から有志が集まり、ダンスを踊りました。区民まつりで踊ったダンスは、運動会で踊るダンスとは違う振付だったので覚えるのが大変でしたが、楽しく踊ることができました。横浜市立小学校体育大会でもダンスを踊る予定なので、全力で取り組みます！緑区では夢みどりリーダー会議など緑区ならではの活動が行われていて、とてもよいと思います。あたたかい雰囲気、素直な子がたくさんいる素敵な町を大切にしていきたいです。



中山中学校他有志(新治中部地区連合自治会推薦)

- 新治中部地区では「緑区音頭」が策定されて以来、地域の方の指導のもと、中山中学校では体育祭で、3小学校(中山小・上山小・森の台小)は運動会で、保護者・地域の方々と一緒に毎年楽しく踊るのが恒例となっています。地元各自治会の盆踊りでも緑区音頭が踊られて、小・中学生も地域の一人として輪の中に入り、踊りの輪・地域の輪が広がり盛り上がっています。区制50周年の区民まつりで、「緑区音頭」を踊れたことを光栄に思います。(代表兼演者)
- 緊張しましたが、無事緑区音頭で太鼓を叩きました。普段は地域のチームで週5日ほど太鼓を練習しています。高校生になっても太鼓を続けていきたいです。(太鼓を披露したお子さん)

緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

緑区の“農”と“50周年”のPRイベント「わらアート」



緑区産の“わら”や“竹”を使用して、緑区の伝承に基づいた巨大なアート作品「わらアート」を制作し、緑区の“農”を象徴する田んぼに展示することで緑区の歴史や魅力をPRしました。

- 制作・展示した作品：霧が池の主の「龍」（高さ約5 m）、成長すると龍になると言い伝えられている「亀」（高さ1.3m）、霧が池の大蛇が化けた美しい娘を乗せた「馬」（高さ1.9m）

作品小「馬」と「亀」の公開制作

- 制作期間：令和元年7月29日（月）～8月8日（木）※土日除く
- 展示期間：令和元年8月13日（火）～9月20日（金）※8月17日～25日、9月3日、土日・祝日は除く
- 会場：緑区役所1階イベントスペース ● 制作した作品：作品小「亀」（高さ1.3m）、「馬」（高さ1.9m）
- 制作：緑区民の制作ボランティア延べ46人 ● 材料提供：稲わら（十日市場 田中氏）、竹（鴨居原市民の森愛護会）



「亀」の制作



「馬」の制作



「わら編み」作業

■ 作品の紹介：緑区の伝承の中から「霧が池の伝説」と「霧が池の大蛇の伝説」に基づいた、関連性のある3作品を制作しました。

■ 制作・指導：国内外でわらアート作品を手掛けている「NPO法人わらアート JAPAN」が作品のデザイン・設計・制作・指導を行いました。

作品小「馬」と「亀」の巡回展示

- 期間：令和元年9月11日（水）～11月13日（水） ● 会場：小学校8校（鴨居小、竹山小、長津田第二小、新治小、緑小、三保小、山下みどり台小、霧が丘学園小学部）、養護学校1校（県立みどり養護学校）、にいはる里山交流センター、緑区民文化センターみどりアートパーク、山下地域交流センター



にいはる里山交流センターの「馬」



トラック上の「亀」（鴨居小学校）



緑小学校の「亀」

緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

作品大「龍」の制作

- 期間：令和元年11月2日（土）～11月18日（月）
- 会場：JR横浜線から見える田んぼ（緑区小山町）
- 制作した作品：作品大「龍」（高さ約5 m）
- 制作：緑区民の制作ボランティア延べ54人
- 材料提供：稲わら（田んぼ所有者 落合氏）、竹（鴨居原市民の森愛護会）



「わら編み」作業



JR横浜線から見える田んぼでの展示

- 期間：令和元年11月23日（土）～12月1日（日）
- 会場：JR横浜線から見える田んぼ（緑区小山町）



作品を楽しむ来場者



横浜線と「龍」と「馬」と「亀」
提供：神奈川新聞社

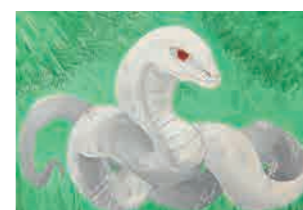


◀ 夜間のライトアップ

日中の様子▼



天に昇って雨を降らせた龍



霧が池に住むメスの大蛇

横浜市立義務教育学校霧が丘学園中学部美術部の皆さんが、緑区の伝承「霧が池の伝説」と「霧が池の大蛇の伝説」を紹介する絵を描いてくれました。

緑区制50周年記念事業報告 緑区役所主催事業

緑区制50周年記念中学生合唱団

- 平成30年10月から 緑区内在学・在住の中学生参加者募集
- 平成31年2月 オーディション実施(緑公会堂) ●平成31年4月から 練習開始

緑区内の市民活動グループ「緑区民音楽祭実行委員会」が、緑区制50周年を機に「次代を担う中学生に音楽を通じたかけがえのない体験を！」と企画した「緑区制50周年記念中学生合唱団」。



さまざまな調整を重ねて、世界で活躍する若手指揮者 山田和樹さん、日本を代表するプロフェッショナル合唱団 東京混声合唱団との共演の場を実現しました。

指導は、数々の受賞歴を持つ横浜市立緑が丘中学校合唱部顧問である根本はるみ先生にお願いしました。

山田和樹指揮 東京混声合唱団 「県立音楽堂アフタヌーンコンサート」特別出演

- 開催日：令和元年8月23日(金) 14時～16時 ●会場：神奈川県立音楽堂
- 主催：神奈川県立音楽堂(指定管理者公益財団法人神奈川県芸術文化財団)

最初は緊張していた中学生合唱団のメンバーも、前日に山田和樹さんより御指導いただき、一気にパワーアップしました。

まず東京混声合唱団と元気いっぱいに「夢をかなえてドラえもん」を合唱し、その後はいよいよ中学生合唱団の単独ステージ。「児童合唱組曲『くまモン』」を披露しました。作詞作曲者である森田花央里さんのピアノ伴奏に合わせ、ステージ上には「くまモン」も登場し、会場は大いに盛り上がりました。



山田和樹さん
©Taira_Tairadate



©青柳聡

緑区制50周年記念事業報告 緑区役所主催事業

緑区民音楽祭35周年・緑区制50周年記念コンサート 東京混声合唱団と緑区制50周年記念中学生合唱団が夢の共演

- 開催日：令和元年10月27日(日) 14時～16時 ●会場：緑公会堂
- 主催：緑区民音楽祭実行委員会・緑区役所

第一部の東京混声合唱団のステージでは、伊藤翔さん指揮 矢崎貴子さんのピアノで、客席を使った「コンダリラ(滝の精)」や日本の秋を歌う「旅愁」「里の秋」など、合唱の神髄の美しい響きを聞かせてくれました。

中学生合唱団は第二部に登場。「夢をかなえてドラえもん」を東京混声合唱団と歌ったあと、「くまモン組曲」から「くまモンのハッピーバースデー☆」、そして「春に」「信じる」「友～旅立ちの時～」と、中学生らしいビュアな歌声を響かせました。

最後に、再び東京混声合唱団と「大地讃頌」を合唱。素晴らしい歌声に会場は大感動。長い練習期間を経て歌い終わった中学生たちの顔は、充実感いっぱいに輝いていました。



緑区制50周年記念事業報告 緑区役所主催事業

緑区地域福祉保健計画 みどりのわ・ささえ愛プラン特別講演会 大島花子トーク&ライブーいのちの、うつくじさー

- 開催日：令和元年7月4日(木) 14時～16時
- 会場：緑公会堂 ● 参加人数：398人

シンガーソングライターの大島花子さんをお招きし、「緑区地域福祉保健計画 みどりのわ・ささえ愛プラン特別講演会」を開催しました。

家族の絆や人と人のつながりの大切さ、命の貴さ、そして、次世代に伝え残していくことをテーマに、長年地域福祉に携わってきた皆さんへの感謝の意を表すとともに、これからの「緑区の福祉」を担う皆さんの心に響く講演会になりました。



▲ライブの様子

冒頭に披露された、日本語訳の「イマジン」では、同じ地球に住む人同士が、人を思い、人と人がつながることの大切さを来場者に問いかけました。

父である、故・坂本九さんの代表曲「明日があるさ」では、手拍子とともに会場が一体となりました。他にも来場者と一緒に手話を交えながら「夕焼け小焼け」を歌い、和やかな雰囲気が進められました。



大島花子さん



▲ポスターセッション

会場のロビーでは、「みどりのわ・ささえ愛プラン」の地区別計画のポスターを展示し、第3期計画の区内11地区の取組を紹介しました。

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」



「誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして」を基本理念として、地域の福祉保健を推進するための目標や課題を明らかにし、課題解決に向け、区民の皆さん・事業者・行政が協働で取り組む計画です。

平成18年度に第1期計画を策定し、令和元年度は第3期計画の4年目にあたります。令和3年度から始まる第4期計画策定に向けて、第3期計画の振り返りを行っています。

緑区制50周年記念事業報告 緑区役所主催事業

緑区制50周年お祝いメッセージ配布事業

緑区役所で人生の節目となる届出(婚姻届・出生届)をされた皆さんに、記念品のお祝いメッセージカードを配布しました。

- 実施期間：平成31年1月～令和元年12月



緑区制50周年記念後納郵便スタンプ

緑区役所からの後納郵便に、緑区制50周年を記念して作成した緑区役所専用のミドリン後納郵便スタンプを押印しました。

- 実施期間：平成31年1月～令和元年12月



ミドリンの小型記念日付印の押印

緑区役所の協力で、令和元年7月1日から10月31日まで緑区内の郵便局ごとに全10種類のミドリンの小型記念日付印の押印を実施しました。

緑区制50周年記念事業報告 緑区役所主催事業

ふるさと緑区壁画事業

小中学生が「自分たちが暮らすまちの未来」をテーマに、公園や道路擁壁等の構造物に壁画を描きました。

【壁画の箇所】

実施校	製作箇所
中山小学校	中山橋(中山4丁目)
三保小学校	緑が丘橋(三保町)
霧が丘学園	霧が谷歩道橋(霧が丘5丁目)
いぶき野小学校	長津田みなみ台緑道(長津田みなみ台5丁目)
十日市場小学校	ヒルタウン地下道(十日市場町)
十日市場中学校	ヒルタウン地下道(十日市場町)
鴨居中学校	白鴨トンネル(鴨居6丁目)



中山小学校



十日市場中学校

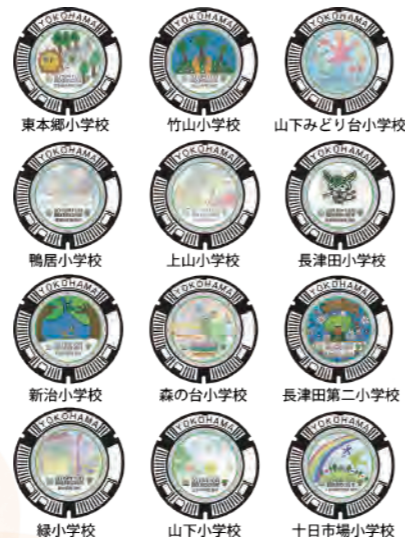
ふるさと緑区デザインマンホール設置事業

小学校と協力して、小学生自らが緑区の魅力や将来像についてデザインしたマンホールを製作・設置しました。

学校名	製作箇所
東本郷小学校	東本郷五丁目43-1番地付近
鴨居小学校	鴨居一丁目9-6番地付近
新治小学校	新治町768番地(新治小学校校門前)
緑小学校	鴨居五丁目19-1(緑小学校校門前)
竹山小学校	竹山三丁目8番地付近
上山小学校	上山二丁目41-1番地付近
森の台小学校	森の台9-1番地付近
山下小学校	青砥町1134-2番地付近
山下みどり台小学校	北八朔町2090-2番地付近
長津田小学校	長津田五丁目4-37番地付近
長津田第二小学校	長津田町2246番地付近
十日市場小学校	十日市場町803-3番地付近



新治小学校



各小学校のデザインマンホール

緑区制50周年記念事業報告 緑区役所主催事業

ふるさと緑区植樹事業

連合自治会の皆さんと地域の子もたちに、街の緑の象徴である街路樹を記念植樹してもらい、次世代に豊かな緑を引き継ぎました。

【植樹箇所】

連合名	樹種	植樹箇所
東本郷地区	ヤマボウシ	東本郷5丁目42番地先
鴨居	ヤマボウシ	鴨居5丁目26番地先
竹山	シダレザクラ	竹山二丁目公園
白山地区	シモクレン	白山1丁目10番地先
新治中部地区	ヤマボウシ	中山4丁目23番地先
山下	ヤマボウシ	青砥町1101番地先
三保地区	ハナノキ	三保町2159-1番地先
新治西部地区	ヨウコウサクラ	十日市場町811-7番地先
十日市場団地	コブシ	十日市場町1501番地先
霧が丘	ヨウコウサクラ	霧が丘2丁目1-1番地先
長津田	ヤマボウシ	長津田みなみ台1丁目38-5番地先



鴨居連合自治会



霧が丘連合自治会



緑区制50周年記念事業報告 地域事業

緑区制50周年地域事業

緑区制50周年を記念し、区を挙げてお祝いし盛り上げていくため、区民の皆さんが自ら企画・運営・実施した事業を紹介します。

地区	団体	事業名	事業内容	開催日	会場
東本郷	東本郷地区連合自治会	東本郷地区緑区制50周年記念聖火リレー	東本郷小学校校庭をスタート・ゴールとし、トーチリレーを実施し、緑区制50周年を地域でお祝いました。	10月13日(日)	東本郷小学校周辺
鴨居	Studio Active Smile	日本全国笑顔化計画in緑区制50周年イベント 笑って輝け!よりどりみどりフェスティバル	年齢・性別・障害の有無にかかわらず楽しめるラフターヨガやお笑い芸人によるライブ、緑区民による演劇など、来場者が笑顔で元気になるイベントを開催しました。	12月1日(日)	緑公会堂
竹山	竹山連合自治会	緑区制50周年 竹山文化祭・演芸フェスティバル	園児のお遊戯等、小学生の合唱・演技、鴨居中学校吹奏楽部の演奏、サークル団体・個人の演芸披露を催し、世代間交流を行いました。	11月4日(月・振休)	竹山小学校 体育館
白山	白山地区連合自治会	「緑区制50周年記念」白山連合防犯推進委員会の立ち上げ	当地区の防犯力を高めるため標記推進委員会を立ち上げ、地域住民の防犯意識を高め、自助・共助・近助による防犯に高い「コミュニティ」を創設します。	5月25日(土)	白山地区
新治中部	新治中部地区連合自治会	みんなの人文字で緑区制50周年を祝おう!	2019年新治中部連合ふれあいフェスティバルで人文字を作成しました。撮影写真パネルを作成し、緑区制50周年記念として各自治会館に残します。	10月27日(日)	中山中学校 校庭
山下	総合型地域スポーツクラブ「やましたスポーツ文化クラブ」	緑区制50周年記念 山下グラウンドゴルフ大会	幅広い世代が集まり交流しながら緑区制50周年をお祝いする場として、高齢者でもできるグラウンドゴルフを実施しました。	6月1日(土)	山下小学校 校庭及び 体育館
三保	三保地区連合自治会	「緑区制50周年記念」緑区遺産三保地区巡り!	三保地区緑区遺産について先人の生活動向を講演会で習得し、その後現地を多世代の参加者が一緒に巡ること、地区内外の方々と共に歴史や遺産を振り返りました。	9月28日(土)	三保町内 緑区遺産6か所、三保町自治会館
新治西部	新治西部地区連合自治会	緑区制50周年記念 「十日市場町の歴史紹介～緑区が誕生したところの十日市場を知ろう～」	「十日市場のいちば」で約50年前の十日市場周辺の模型を展示するとともに、過去の写真等をパネルで展示し、参加者に過去の十日市場の様子、発展してきた歴史を知っていただきました。	11月23日(土・祝) 11月30日(土)	十日市場駅 南口駅前広場
十日市場団地	十日市場団地連合自治会	区制50周年記念 歓迎・UR住宅・環境未来都市自治会加入 納涼夏祭り	自治会未加入の方、高齢者、障害者の方を含む地区内のすべての方がこの祭りに参加し、一緒に緑区制50周年をお祝いすることで、さらなる自治会加入の機運を醸成しました。	7月26日(金) 7月27日(土)	ヒルタウン 東公園
霧が丘	霧が丘連合自治会	緑区制50周年事業記念 霧が丘盆踊り大会&霧が丘大運動会	盆踊り大会において、大人が神輿を担ぎ50周年を共に祝いました。また、霧が丘大運動会において、監督・運営関係者が50周年のロゴTシャツを着用し、緑区制50周年を盛り上げました。	盆踊り 7月13日(土)	霧が丘公園 多目的広場
			大運動会	10月13日(日)	霧が丘学園 中学部グラウンド
長津田	緑区制50周年・長津田町誕生80周年記念事業実行委員会	緑区制50周年・長津田町誕生80周年記念「長老に聞く長津田の80年～そして未来へ～」～長津田に愛着と誇りを～	「港北区長津田町」が誕生して80周年になるのを記念し、長津田の歴史、文化を伝える記念イベントを開催。80歳代の方々にまちや暮らしの変化を語っていただき、長津田の歴史等を知ることで、改めて長津田のまちへ誇りを抱く機会となりました。	11月17日(日)	みどりアートパーク

緑区制50周年記念事業報告 緑消防署記念事業

緑区消防出初式

平成31年1月5日、緑区消防出初式を十日市場消防訓練場で開催しました。鴨居郷土芸能保存会(鴨居囃子連中)による獅子舞の披露、一般消防功労者と緑消防団員の表彰、横浜市消防音楽隊ポートエンジェルス119によるステージドリルや消防車両分列行進、一斉放水等を実施しました。また、中山町自治会館の倉庫に保存されていた大正から昭和30年代まで活用された台車付腕用ポンプ車をきれいに塗装しなおし、出初式で披露しました。

そのほか、消防車両の展示や、子ども用の防火衣を着て写真を撮れるコーナーでは、親子で楽しむ姿も見られました。



一斉放水

横浜市消防音楽隊
ポートエンジェルス119

通常は緑消防署に展示されている
台車付腕用ポンプ車

「緑消防発祥の地」記念碑の建碑



横浜市行政区再編成により昭和44年(1969年)10月に港北区から分区されて緑区が誕生し、現在の緑区役所の場所に横浜市緑消防署、横浜市緑消防団本部、緑火災予防協会事務局、横浜市防火協会緑支部が置かれました。令和元年(2019年)10月に緑区制50周年を迎えたことを祝い、緑区役所スロープ脇の花壇に、横浜みどりライオンズクラブから寄贈された「緑消防発祥の地」記念碑を設置しました。



記念碑の正面のデザインは、神奈川県立白山高等学校の生徒による作品で、テーマは「消防士が緑区を守っていることを表現したもの」です。

緑区民まつり消防ブースの出展

令和元年10月20日(日)に開催された緑区民まつりでブースを出展しました。



50周年記念ブース

車両展示ブース

緑消防署予防課
(自助公助)ブース

緑消防団ブース

緑区制50周年記念事業報告

冠事業一覧

2019年1月から12月までの間に開催した、緑区制50周年記念の冠をつけて一緒にお祝いしてもらったイベントの一覧です。※開催月順

開催月	名 称	開催月	名 称
1月	緑区消防出初式	10月	Open！みどりーむ
	緑区新年賀詞交換会		就学前のお子さまの預け先等 利用者説明会・個別相談会
	バドミントンレクチャー ～緑区にトップアスリートがやってくる！～		みどりアートパークオープンデー
2月	緑区スポーツ人の集い	10～12月	展示「緑区制50周年記念—資料とモノでたどる緑区—」
	大都市制度フォーラムin 緑区		介護セミナー「～親が認知症になったら。取るべき行動と住まい方～」
	Open！みどりーむ		緑区制50周年記念給食
3月	第37回緑区社会福祉大会	11月	食品衛生講座
	緑区防災講演会		犬のしつけ方教室～災害に備えて～
	第135回緑区民音楽祭ふれあいコンサート		緑区遺産ガイドウォーキング
4月	みどりーむまつり2019		あつまれ！みどりっこまつり
	四季の森公園まつり		緑区体育協会創立50周年記念 スポーツイベント
4月・5月	みどりアートパークプレゼント ～緑区制50周年記念コンサート		ゲームで学ぼう！防災イベント
5月	第136回緑区民音楽祭ふれあいコンサート		緑区食生活等改善推進委員会 50周年記念講演会
	緑区フォトワークショップ		緑区ガイドボランティアの会と歩く 「中山駅周辺の緑区遺産と『わらアート』」
6月	森を歩こう・絵を描こう みんなでらくがきワークショップ		人生100年時代～のばせ！健康寿命～
	みどりスポーツフェスティバル2019		第38回中山まつり
	緑区エンディングノートPRイベント 「エンディングノートからはじめる自分らしい暮らしのプロデュース」		緑区制50周年記念 「緑公会堂コンサート」
	食育月間講演会&イベント	卓球大会	
	講演会「飼い主が備える災害時のペット対策」	緑区人権啓発講演会	
7月	横浜にぎわい寄席七月興行緑区民優待デー	12月	障害者週間イベント2019
	盆踊り大会		ミドリウォーキングフェスタ
8月	食中毒予防キャンペーン		スポーツ×健康フェスティバル
	Open！みどりーむ		ミドリネット（緑区施設間連携会議） スタンプラリー
9月	第14回みどり市民活動交流会		第50回鴨居エキコン
	みどり笑顔プロジェクト	緑区ランニングフェスタ2019	
9月・10月	第3回緑公会堂フェスティバル	2020年 3月まで	子どもたちの夢の緑区推進事業
	midori art diary		随時
10月	緑区商店街ポイントラリー		50周年記念写真撮影
	健康づくり月間講演会	概ね 月1回	
	緑区ガイドボランティアの会と歩く 「十日市場歴史散策とサツマイモ掘り」		思いやり、健康づくりの日

※このほかにも多くの冠事業が開催されました

緑区制50周年記念事業報告

PR取組一覧



緑区制50周年
PRの主な取組を
紹介します



名称	内容	写真番号
50周年カウントダウンFacebook	Facebookで区民の皆さんの写真でカウントダウン	1
緑区役所庁舎内のロゴマーク等の掲示	ビロティへの横断幕設置、1階階段前やエレベーター内扉等へのロゴマーク掲出	2
アマチュア無線緑区制50周年記念特別局開設	アマチュア無線特別局の開設	3
広報よこはま みどり区版でのPR	ロゴ・キャッチフレーズ周知（増ページ）	4
	50周年イヤー幕開け特集	
	50周年イベント周知（増ページ） 50周年記念特集（増ページ・別刷り）	
50周年ロゴ入りロールスクリーンバナーの活用	イベント等で写真撮影の背景として活用	5
広報車のラッピング	広報相談係の庁用車を50周年仕様でラッピング	6
のぼり旗貸出	地域のお祭り等へののぼり旗（ポール・台付）の貸出	7
緑区内各駅でのPR	横断幕等の掲示、各駅PRボックスに緑区制50周年の装飾	8
緑区役所内の階段に緑区制50周年を記念した写真・ロゴの掲示	緑区役所内の階段に緑区制50周年を記念した写真・ロゴの掲示	9
50周年記念フラッグの商店街への掲示	緑区内商店街における50周年記念フラッグ（プロスポーツとの連携）の掲出	10
50周年記念オリジナルフレーム切手販売	50周年記念オリジナルフレーム切手の作成・販売	11
みどり区ガイド・防災マップ	表紙面に緑区今昔写真展の提供写真（区内4駅）とロゴマークを掲載	
50周年ホームページの開設	記念事業等の紹介など	
記念グッズ販売	タオル、Tシャツ等の販売（P24参照）	

緑区制50周年記念事業報告

50周年記念グッズ紹介

緑区制50周年を記念して配付・販売されたグッズの一部を紹介します。

緑区制50周年記念事業実行委員会、緑区役所で配布・販売されたグッズ



ミドリんぬいぐるみ
※緑区役所・緑区内施設窓口へ設置

障害者施設で販売されたグッズ



ミドリんシール付き
クッキー
(あしたば工芸)

ミドリんの顔柄の
ビーズバッジ
(ピネル工房事業所)

ちりめんの
ミドリんストラップ
(横浜市中山みどり園)

ミドリんのハンカチ
(みどり地域活動
ホームあおぞら)

ミドリん柄付箋メモ
(障害者就労支援事業所
アルカヌエバ)

ミドリん柄トレイ
(緑工房)

※このほかにも多くの関連グッズが作製されました

コラム

愛されて10年「ミドリん」



緑区キャラクター「ミドリん」

平成21年の緑区制40周年を記念して誕生した「ミドリん」。区民の皆さまに末永く愛されるようデザインと愛称を募集し、区民投票を経て決定されました。これからも、緑区のキャラクターとして活躍していきます。

緑区キャラクター「ミドリん」誕生まで

- 平成20年4月 緑区キャラクターデザイン募集
「緑区をイメージできるキャラクター」としてデザインを募集
- 平成20年7月 緑区キャラクターデザイン区民投票
応募131点の中から緑区キャラクター選考委員会で1次審査に残った5点について、区民投票を実施
- 平成20年11月 緑区キャラクターデザイン決定、愛称募集
投票の結果、**①戸塚智子さん(長津田在住 ※当時)**のデザインに決定し、引き続き親しみやすい愛称を募集
- 平成21年2月 緑区キャラクター愛称決定
応募106点の中から「ミドリん」に決定

当時の広報よこはまみどり区版(平成20年7月号)から抜粋

緑区キャラクター区民投票



それぞれのキャラクターの説明

- ① 緑の葉っぱをモチーフに、服はカエデと「ミ」の字をデザイン
- ② 前髪は「M」、胸には四葉のクローバーをあしらっています
- ③ 踊り好きでやんちゃ。緑区の妖精たちを集めて踊ります
- ④ 足(根)は大地にどっしりついて、Mを表しています
- ⑤ 飛躍を願って「はねる」ウサギの耳は、区民の声がよく聞こえます

デザインについて

みどりの葉っぱをモチーフに、服は緑区の木「かえで」と「ミ」の文字をデザイン。ほっぺには、緑区の花「シラン」のパープルの花びらをデザインしています。

名前の由来

緑がたっぷりの緑区の妖精。ミドリの音の響きといつも明るく元気にルンルンしていることから、ミドリんと名付けられました。

プロフィール

緑区と同じ10月生まれ。緑区の森や林の中に住んでいます。得意技は光合成！二酸化炭素を吸って、酸素を生み出すことで、地球温暖化防止に貢献しています。でも、まだまだ、そのプロフィールには謎に包まれている部分も…。

豆知識

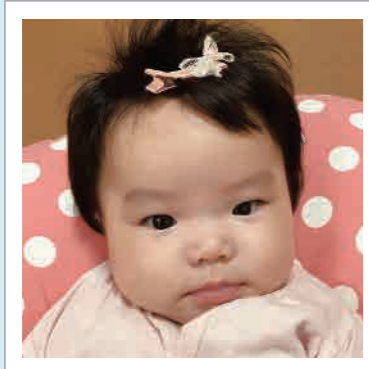
第2章 緑区の皆さん

Hello Baby!

緑区制50周年の
記念の年に
誕生した

平成31年 令和元年 生まれの

赤ちゃんを紹介します



次のページからは
緑区の皆さんに
聞いた将来の夢
を紹介します!



タンクの運転手
さんになりたい!

Good!



小学校の先生 医者 獣医師



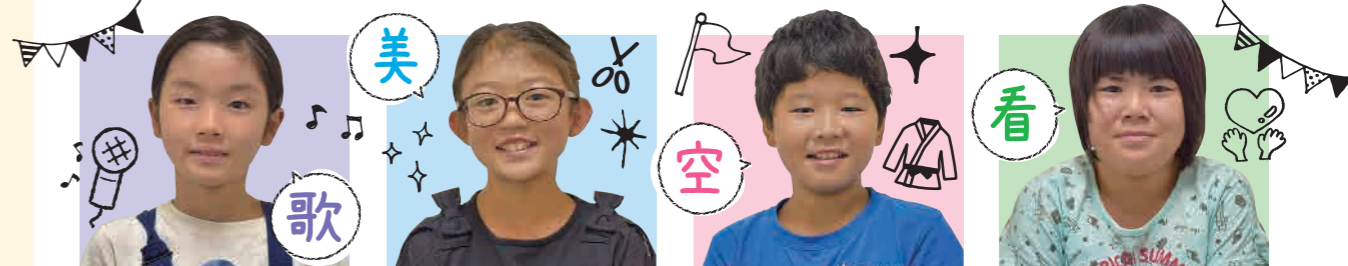
建築士 電車の運転手 保育園の先生 看護師



医者 マンガ家

緑区の小学生に聞いた 将来の夢

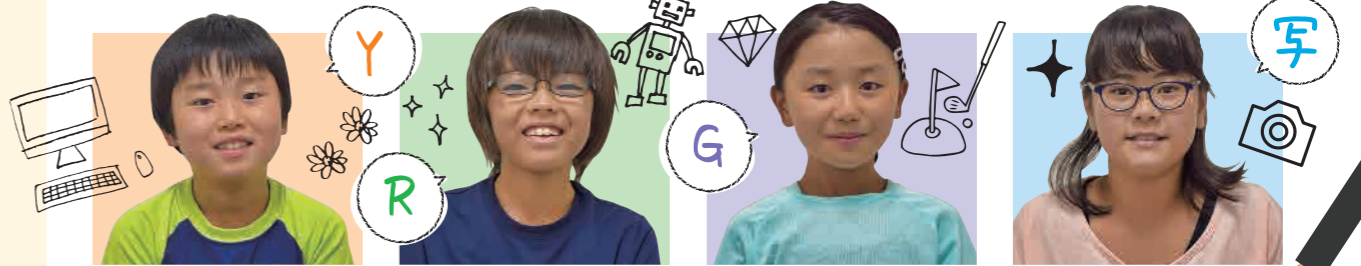
50周年記念イベント「Mini Mini Midori」
実行委員の皆さんに「将来の夢」を聞きました。



歌手 美容師 空手の選手 看護師



気象予報士 看護師 警察官 バレリーナ



YouTuber ロボットクリエイター ゴルファー カメラマン

緑区の中学生・高校生に聞いた

将来の夢

50周年記念イベント

「緑区制50周年記念中学生合唱団」

団員の皆さんに「将来の夢」を聞きました。

My Dream

考古学者 / 中3

My Dream

小説家 / 中3

My Dream

駅弁の開発 / 中3

My Dream

卓球のチーム ワールドカップに出たい! / 中2

My Dream

女優 (モデル) / 中2

My Dream

心理カウンセラー / 高1

My Dream

歌手 / 中3

My Dream

誰かを助けられる仕事 / 中3

My Dream

エンジニア / 中2

My Dream

塾の講師 / 中3

My Dream

保育士 / 中2

My Dream

ベビーシッター、家政婦 / 中2



My Dream

声優 / 中2

My Dream

整体師 / 中2

My Dream

シンガーソングライター / 中3

My Dream

教師 / 中1

My Dream

幸せに暮らす / 中2

My Dream

パイロット / 中1

My Dream

公務員 / 中2

My Dream

空港で働く / 高1

My Dream

歌手 / 中2

My Dream

獣医師 / 中1

My Dream

まだ見つかっていません / 中1

My Dream

女優 / 中2

緑区の大学生に聞いた

将来の夢

緑区内にある4つの大学、横浜創英大学、昭和大学、東洋英和女学院大学、東京工業大学に通う皆さんに将来の夢をインタビューしました。

一番身近な保育者に

柴崎芽生さん (横浜創英大学3年)



私が幼稚園の時、自然な形で友人たちの輪に入れるように教諭が手を引いてくれました。そのおかげで、たくさんの友人と仲良く幼稚園生活を送ることができました。私も、誰も一人ぼっちにしない保育者になりたいと思っています。そして、子どもだけでなく、保護者などとも積極的に関わり、一番身近で、一人ひとりの気持ちに寄り添える保育者になることが私の夢です。夢の実現に向けて、人との接し方など毎日学びを深めています。

患者さんにとことん寄り添う理学療法士に

三樹亮太さん (昭和大学3年)



バレーボール部で怪我の多かった高校時代、理学療法士が親身に向き合ってくれました。自分もそうだったように、患者さんはたくさんの不安を抱えています。そんな不安を1つ1つ解消して、患者さんにとことん寄り添える理学療法士になることが私の夢です。細かい声かけや気遣いも患者さんの不安を大きく和らげると感じます。幅広い医療知識を学ぶことはもちろん、相手の気持ちに気が付ける人になれるよう、日々学びを深めています。

映像通じて、多様な世界を伝えたい

成田絵未里さん (東洋英和女学院大学3年)



大学入学後、日本人が全くいない環境に飛び込みたいと、アイルランドに語学留学をしました。様々な人と仲良くなり、多様な考え方を学ぶことができました。様々な世界があることを映像で多くの人に届ける仕事に就くことが私の夢です。2019年の学園祭では、実行委員長として学園祭の魅力を積極的に伝えるなど、挑戦の毎日を送ることができ、良い経験となりました。今後も、やってみたいと思ったことはすべて挑戦する姿勢を持って夢を追いかけていきたいです。

病気で困っている人の手助けを

高木康雄さん (東京工業大学生命理工学院修士課程1年)



子どもの頃から化学に興味がありました。大学院でも研究を続けています。将来は、現在の研究を生かして、製薬会社で薬の開発に携わりたいと考えています。自分の作った薬で、病気になって困っている人を助けたいという思いがあります。薬を通じて、健康な人が増えてほしいです。その結果、多くの人が当たり前楽しく生きることができると願っています。

私たち、
緑区制50周年の年に
結婚しました!

～お二人に質問!～



磯貝さんご夫妻

Q.どんな家庭にしたいですか?
A.笑いの絶えない家庭
Q.50年後どうなっていたいですか?
A.お互いを思いやる気持ちを忘れず、仲良くしたい!
Q.これから結婚される方へのメッセージを!
A.緑区を幸せいっぱい町にしましょう!



原田さんご夫妻

Q.これまでで一番のイベントは何ですか?
A.今日!入籍したこと!
Q.どんな家庭にしたいですか?
A.何年経っても家族みんなでお出かけする仲良し家族
Q.緑区の印象は?
A.安心安全住みやすい☆



深堀さんご夫妻

Q.一番感謝していることは何ですか?
A.私を好きになってくれたこと
Q.50年後どうなっていたいですか?
A.たくさんの孫に囲まれたパワフルなおじいちゃんとおばあちゃん
Q.これから結婚される方へのメッセージを!
A.結婚は、勢い



徳田さんご夫妻

Q.変わらないでほしいところはどこですか?
A.誠実なところ
Q.どんな家庭にしたいですか?
A.恋人のような家庭
Q.緑区の印象は?
A.都会ながら、キジバトとかセミがいて和む



岩崎さんご夫妻

Q.これまでで一番のイベントは何ですか?
A.相手の実家への挨拶も兼ねた旅行
Q.50年後どうなっていたいですか?
A.おじいちゃん、おばあちゃんになっても今と変わらず幸せに手をつないで散歩する
Q.緑区の印象は?
A.緑が多くて癒されます。交通のアクセスもよく住みやすいです。



区民の皆さんと協働する健康づくり

緑区では、区民の皆さんが生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、地域の関連団体の皆さんと協働しながら、健康づくりの啓発に取り組んでいます。

緑区保健活動推進員の活動(思いやり、健康づくりの日)

保健活動推進員は、自治会から推薦を受けて、地域の健康づくりの推進役・行政の健康づくり施策のパートナー役として、市民の健康づくりを推進するために地域でさまざまな活動を行っています。

緑区では200人以上の保健活動推進員が、区民の皆さんの生涯にわたる健康づくりや生活習慣病の予防のために、区役所と協働して活動をしています。研修を通じて健康づくりの正しい知識を身に付け、自身や家族の健康づくりに取り組むとともに、各地区で実施する行事(健康チェック、講演会、体操教室等)の企画立案・実施・参加・協力等を行い、地域の健康づくり活動に取り組んでいます。

緑区保健活動推進員の皆さんが大切にしてきた活動に『思いやり、健康づくりの日』があります。これは緑区制30周年を記念して平成11年に開始された事業で、おおむね毎月1回、区役所で無料の健康チェックを行っています。区民の皆さんの生活習慣を見直す機会としてぜひ活用してください。

各地区でも、地域の方が楽しく健康づくりに取り組めるよう、地域に根差した幅広い健康づくり活動を推進しています。



緑区食生活等改善推進員の活動(緑をたっぷり召し上がれ事業)

食生活等改善推進員(愛称ヘルスマイト)は、「私達の健康は私達の手で」を合言葉に食を中心とした健康づくりを広める全国的なボランティア団体です。「運動」「休養」とともに健康づくりのための重要な要素として「食」があり、緑区でもさまざまな食についての取組を行っています。

とりわけ緑豊かな区の特徴を活かした『緑をたっぷり召し上がれ事業』は、平成16年度からヘルスマイトの皆さんと協働で進めています。

野菜キャンペーンや区民まつり、ウォークイベントといったさまざまな機会でも、健康に配慮した新鮮な地場産野菜を使った簡単・おいしいレシピの紹介や楽しいゲームで1日の望ましい野菜の量を学べる体験など、食



野菜キャンペーンイベント風景

についての普及・啓発を行っています。

また、今年ヘルスマイト結成50周年を記念し、今までの講習会等で好評だったレシピや会員のおすすめ品を1冊にまとめたレシピ集を作成しました。

区民の皆さんの日頃の一品になればと期待しています。

ヘルスマイト結成50周年レシピ集から、簡単おすすめのおいしいレシピを紹介するよ!

中には野菜がたっぷり。小さいお子さんも高齢者も簡単に作れるよ。野菜スープを添えて召し上がれ。



レシピ紹介

デンバートースト



- 【材料：1人分】
- 食パン(6枚切り).....1枚
 - 卵.....1個
 - ツナ缶(小).....1/3缶
 - スライスチーズ.....1枚
 - キャベツ.....30g
 - ピーマン.....10g
 - サラダ油.....小さじ1
 - バター.....大さじ1/2(6g)
 - 塩・こしょう.....少々
 - 添え野菜.....適宜

【作り方】

- ①食パンは外側1cm残し、くり抜く。
- ②卵は溶きほぐしておく。
- ③油切したツナをほぐす。
- ④野菜を千切りにする。
- ⑤フライパンにサラダ油を熱し、①の食パン(耳の方)を置き、パンの内側に卵を流し入れる。その後、③と④を入れる。
- ⑥塩・こしょうをし、スライスチーズをのせ、残りのパンでふたをする。
- ⑦フライ返しで少し押さえながら焼き、卵に火が通ったらバターをのせて裏返す。焦げ目がつくまで焼く。
- ⑧⑦を斜めに切り、皿に盛り野菜を添える。



レシピ集については
緑区 ヘルスマイト50周年レシピ集
で検索



障害児・者を支え共にあゆむ皆さん

緑区の25年前の様子とこれからへの想い

港北区からの分区により「緑区」誕生から、人口増加の為再び青葉・都筑・緑と3分区となつてすでに25年。当時は「緑福祉ホーム」が活動拠点として1館あるのみでした。

通所施設、グループホーム等の建設に皆力を注ぎ、少しずつはありましたが障害児者も地域の中で自然な形で暮らしたい、との思いが実りつつありました。

中途障害者地域活動センター「緑工房」の開所もこの当時でした。更には「ハーモニーみどり」建設へと日々検討を重ねた事を懐かしく思い起こして居ります。

変わらぬ風景は中央を流れる恩田川に多数の野鳥が舞い降り、心ませてくれます。緑区の名の通り自然豊かな、とても住みやすい街だと思つて居ります。

今、私は緑工房理事長として沢山の皆様に支えられて活動させていただいています。多くの皆様に心よりの感謝を申し上げます。そして今後共宜しく御指導お願い致します。



鈴木やよいさん

緑区肢体障害者福祉協会のあゆみ

昭和20年代の戦後の物資不足の時代、緑区には戦傷者の松葉杖をつきアコーディオンの伴奏で愛国歌謡等を歌って鉄兜に喜捨を求める場面が多く見られました。

私は結核性左股関節炎で松葉杖生活でしたが、人工骨頭手術を受けたのち相模原の障害者職業訓練所の機械製図科で製図を学び、障害者として社会人になりました。港北区の障害者グループに入会していましたが、昭和40年中頃から緑区でも障害者の集まりが必要だとの動きが高まり、昭和50年11月23日に会員総数154人の緑区肢体障害者福祉協会の発会式を上げることが出来ました。

緑区内の各障害者団体の連絡協議会を作る動きもはじまり、昭和56年5月14日に緑区心身障害児者福祉団体連絡協議会が結成され、当時の緑肢協の会長である泉美千男氏が初代の心身連会長になりました。

緑肢協は平成30年で解散しましたが、緑区での障害者福祉の先駆けとしての役割を務めることが出来たのではないかと思っております。



遠藤秀夫さん

緑区では、障害のある皆さん、ご家族の皆さん、関係機関・団体が連携して、地域でさまざまな支援を行っています。長年に渡り、緑区内のさまざまな障害児・者の団体さんが集まって問題を話し合ったり親睦を図ったりする「緑区心身障害児者福祉団体連絡協議会」(心身連)の歴代会長の皆さんにお話を伺いました。

みどり地域活動ホームあおぞら建設の思い出

平成15年みどり地域活動ホーム建設委員会が立ち上がり、私は資金担当となりました。横浜市では各区で建設費の一部を寄付で集める規定になっていて一寸気持ちが沈む思いもありました。翌年4月に活動を始め、駅で募金の呼びかけをしたり、地域開催の催しものでご寄付を願ったりしていました。

そんな時、連合自治会の方がチャリティーゴルフ大会を計画して下さい、多くの方の参加がありました。当日、区の職員の方、私共役員は4時に緑区役所前に集合しバスで東富士の会場へ参り、お手伝いをしました。おかげさまで多額のご寄付をいただき、とてもうれしかったです。

緑区の皆様は福祉にご理解が有り、その後次々と個々のご寄付をいただき思いがけなく早く目的に達する事が出来ました。本当に有難うございました。その後障害者と近くの方々の活発な利用で、今、横を通る時当時の事が思い出されます。困った時、どなたでも相談出来ます。ぜひお立ち寄り下さい。



水嶋路子さん

緑区に守られてきた息子の子育て

令和元年に26歳になる息子が重度知的障害を伴う自閉症だと分かったのは、緑区に転居した翌年の平成8年でした。不安でいっぱいだった私を支えてくれたのは、十日市場福祉ホームで活動されていた訓練会「さくらんぼ会」でした。さくらんぼ会は現在も活動されていて歴史は50年近くになります。

息子は平成12年に横浜市立いぶき野小学校に個別支援級第1期生として入学しました。入学時は1クラス2人、卒業時には4クラスでした。

平成18年には県立みどり養護学校中学部に入学しました。みどり養護学校には、昭和53年の設立時に東本郷町自治会会長の守賀四郎様が「本郷神社跡地なら神々も快く児童を見守って下さる」と、地域の方々を説得し多大なご尽力を頂いた記録が残っています。

障害児・者が長く地域で暮らしてきた緑区で息子を育てられたことに心より感謝しています。これからも障害のある方もお互いが思いやりを持ち、信頼し協力し合える緑区であることを願っています。



市木智子さん

緑区の障害のある皆さんの作品・施設活動紹介の展示(障害者週間イベント)



緑区の障害のある皆さんの作品・施設活動紹介の展示(障害者週間イベント)



障害者が通う事業所の自主製品販売会「みどりハートフルマーケット」





子どもたちの学びを支える皆さん

横浜市では、生まれ育った環境によって進路を左右されることなく、子どもたちが将来自立した生活を送れるようになることをめざし、基本的な学習習慣等を身につけてもらえるよう「寄り添い型学習支援事業」を実施しています。

地域で子どもを支える取り組みは、緑区内でも広がっています。

地域でそれぞれ学習支援活動をされている皆さんに、活動への思いについてインタビューしました。



高橋さん 酒井さん

小中学生の算数・数学の学習支援をしています！
挑戦してあきらめないことが大事だということを子どもたちに伝えたい。一生懸命努力した結果、成長できたと実感してもらい、自己肯定感をつけてもらいたいとの思いを持ち取り組んでいます。



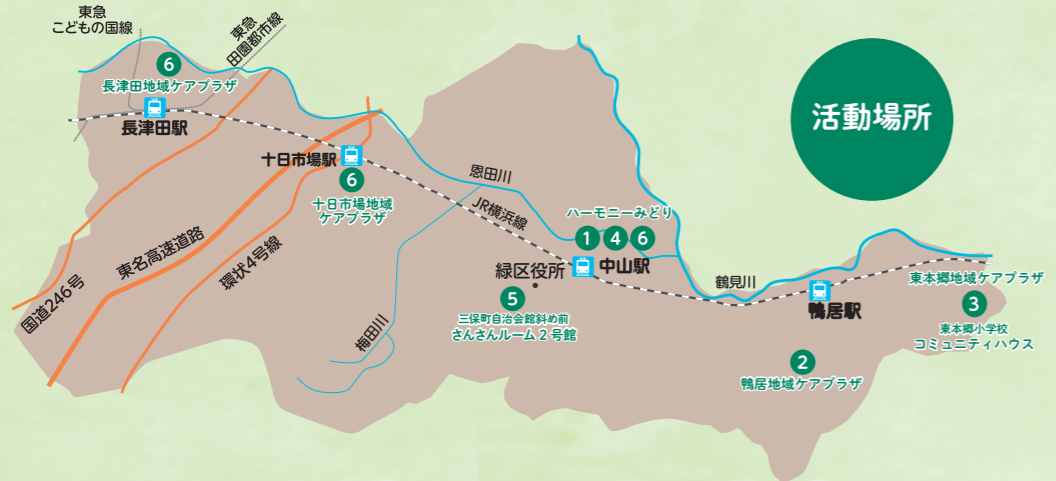
鴨居地域ケアプラザ
雨宮地域活動交流コーディネーター

中学生を対象に経済的事情や学力不足を補い、将来納税者として社会参加できるよう学習支援を行い、若者を育成支援しています。
勉強の習慣が付き希望した進路に進んでくれたこと、子どもたちの1年間の成長を見られることにやりがいを感じています。



高林さん

東本郷エリアの小中学生を対象に学習支援をしています！
子どもと同じ目線を大切に、勉強だけでなく遊びを通して、応援のつもりで子どもに寄り添うように接しています。
年に数回イベントを実施して、普段の活動の中でも学習支援の敷居を低くするよう工夫しています！



活動場所



白井さん

言葉の壁に苦勞し、学校で孤立しがちな外国につながる子ども達の学習サポートや居場所作りをしています。
「小学生は楽しく、中学生も楽しく！先生達もパワーをもらって元気に楽しくいきいきと！」との思いを持って活動しています。



本間さん 林さん

小学生対象に宿題を中心に学習のサポートをしています。
特別な学習の場ではなく、宿題の支援や遊びを通じて地域の子どもが気軽に来て、「子どもたちが自分から進んで宿題をし、自ら考えるようサポートする」ことを目的とし、地域の大人が見守れる居場所を目指しています。



横川さん

ミドリンべんきょう会では、中・高校生を対象に学習支援を行っています。人と人とのつながりの中での多様な体験を通じ、自立に向かうための支援を行うことを目指して「自己肯定感や社会性を育む関係性づくり、体験的な学び」を大切にしています。
また、子どもだけではなく保護者も含めた支援を心がけています。



高齢化社会と共にあゆみ、活動する皆さん

緑区の高齢化を支える民生委員・児童委員



(令和元年6月撮影)

現在、緑区では高齢者やひとり暮らしの皆さんが安心して暮らせるよう、220人余りの民生委員・児童委員が地域で活動しています。

民生委員は、非常勤特別職の地方公務員で、全ての民生委員は児童委員も兼ねているため、「民生委員・児童委員」といいます。

民生委員・児童委員は住まいの近くの担当区域を持っています。ボランティアで、地域の身近な相談相手として介護や子育てなど福祉についての相談に乗り、利用できる福祉サービスなどの情報を提供したり行政や関係機関を紹介したりする「つなぎ役」を担っています。



生活支援ロボットについて学ぶ



盲導犬について学ぶ

緑区民生委員児童委員協議会では、さまざまな相談に柔軟に対応するための知識の習得や、支援が必要な方に寄り添った支援ができるよう、福祉関連施設の視察や講演会等の研修を毎年企画し実施しています。

『小さな気づき 寄り添う心 頼れる地域の「つなぎ役」』をモットーに、緑区の民生委員・児童委員は、これからも高齢化が進んでいく社会を力強く支えていきます。



ペットとの暮らしを支える皆さん

昭和51年に緑区鴨居で開業されて以来、長年にわたり地域の動物病院として多くの飼い主さんから信頼を寄せられている、緑区獣医師会 おくだ動物病院院長 越久田健先生にお話を伺いました。

■開業当時のこと

最初に開業したのはもう少し竹山団地に近いところ。そこで3年やって、今の場所に移りました。当時、動物病院の周りは更地とか畑ばかりで、横浜線の鴨居駅前周辺の街並みに商店街が集中していて、少し離れると竹山団地と笹山団地、そして古くからの住宅と新しい一戸建ての住宅地域があった。



鴨居に建設中のおくだ動物病院

この辺りは静かで緑も多く、人が住む環境としてすごくよい場所だと感じて、将来的に家が増えて人が多く住む町になるかなと思って現在の場所に住むことになった。

当時の緑区に、動物病院の数は多くなかった。犬・猫など小動物だけを対象とした動物病院をやっている先生はまだ少なく、牛や豚も診ている先生が多かったようだね。

当時の緑区に、動物病院の数は多くなかった。犬・猫など小動物だけを対象とした動物病院をやっている先生はまだ少なく、牛や豚も診ている先生が多かったようだね。

■緑区のペットの移り変わり

開業当時は牛や豚を飼っている場所もあったようで、印象に残っているのは「牛がお腹を壊しているから薬がほしい」と訪ねてきた人がいたことかな。

ペットは犬が多く猫は少なかった。この頃は団地では犬・猫は飼えなくて、小鳥を飼っている人が多かった。あとモルモット、ハムスターとか。

犬は、広い家が多かったから敷地内で自由に放して番犬として飼っていることが多かった。犬種は柴犬や雑種が多かった。狼をやる人もいて、ポインターとかセッターを飼っている人もいた。

昔は動物に対しては病気の予防という考え方がまだ少なく、病気がかなりひどくなってから連れてくるような飼い主さんも多かった。

今では、犬と猫の数が半々か猫の方が多くなって

きた。うさぎも多くなったね。犬は番犬の役割は少なくなって、室内で飼いやすい小型犬が多くなってきている。大型犬でも室内で飼うことが多くなったね。

昔も今も飼い主がペットをかわいがることは変わらないけど、ただ単に飼っているという時代から、今は家族の一員という時代になったね。だから、飼い主は医療費をかけるし、予防もしっかりやるようになったようだ。

■ペットと暮らすこれからの緑区

緑区は、散歩できる場所が多いよね。緑が多いし、公園も多くある。鶴見川沿いとか、四季の森公園とか歩道も広くできているしね。さらに環境整備がすすむといいね。



人も動物も植物も一緒にという自然との共存、それは大切なことかなって思う。

それと、集合住宅も含めてどこでもペットが飼えるような環境が広がるといいね。そのためには飼い主がしっかりしつけをし、社会のルール、マナーを守らないといけないね。

動物を飼うことは子供のためにはすごくいいと思う。動物を飼うと愛情を与えるっていうことを覚えるんだよね。一緒に叱られて仲間意識ができたりね。動物が死んじゃうってこと、そういう生とか死とかってものを近くで見ると感じることも大切だと思う。

あとは、自分で面倒がみられる範囲の数で飼うこと。例えば、災害時に避難するときに連れていける数までにするとかね。それが徹底されていけばいいな。飼い主同士もコミュニケーションを取って、ペットも社会性を身につければ、避難するときにも絶対楽だと思うんだよ。そういう広がりが増えてくればもっと飼いやすくなってくると思うよ。

コラム

緑区の木・緑区の花

平成6年11月に、緑区から青葉区が分区したことを記念して、区の木を「カエデ」、区の花を「シラン」と制定しました。



新治市民の森のカエデ



カエデの木は区役所入口の右脇の花壇にも植えられています。



ミドリんのほっぺはシランの花びら。服の胸元は「カエデ」と「ミ」の文字がデザインされています。

シランは、毎年5月ごろになると、緑区役所のカエデが植えられている花壇に花を咲かせます。

第3章 わがまち緑区

緑区フォトコンテスト作品集

緑区の自然や街並み、活動など、今の緑区の姿を記録として将来に残していくため、広く写真を募集するフォトコンテストを平成24～29年度に実施しました。「将来に残したい緑区の姿」として入賞・入選された写真の一部を四季別に紹介します。

冬



H25年度「おもち焼き」
撮影者：正岡俊彦
撮影場所：鶴見川鴨居橋下河川敷



H26年度「はす池氷結」
撮影者：篠原勝清
撮影場所：寺山町四季の森北口はす池前



H29年度「虹をかける」
撮影者：子安康博
撮影場所：十日市場町消防訓練場



H26年度「雪の日の河川敷散歩」
撮影者：持永和俊
撮影場所：思田川と鶴見川の合流地点

秋



H29年度「秋の華」
撮影者：佐々木純一
撮影場所：中山町杉山神社



H25年度「新治谷戸の稲刈り」
撮影者：三浦孝悦
撮影場所：新治旭谷戸



H25年度「新治の秋色」
撮影者：宮崎力
撮影場所：新治市民の森



H28年度「晩秋の散歩道」
撮影者：中村進
撮影場所：四季の森公園

春



H26年度「満開の木のついで」
撮影者：水元亜紀雄
撮影場所：鴨居駅前桜並木



H26年度「富士山と横浜線」
撮影者：三浦富雄
撮影場所：東本郷町（鴨居駅付近）



H27年度「満開の桜と輝く寺院」
撮影者：清水勝昭
撮影場所：光照山萬蔵寺



H26年度「子供達の手作り鯉のぼり」
撮影者：菅沼勝利
撮影場所：鴨池人道橋

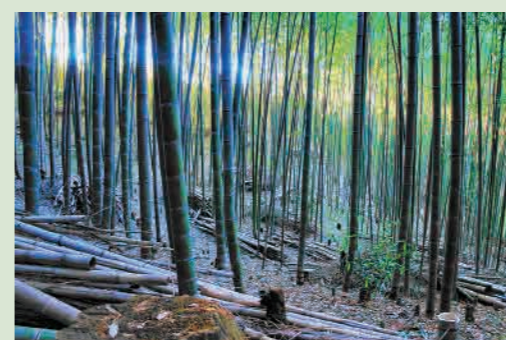
夏



H24年度「森がくれたもの」
撮影者：小柳瑠花
撮影場所：新治市民の森



H24年度「みんなて田植え」
撮影者：大谷元
撮影場所：新治市民の森の各戸田



H24年度「新治市民の森の竹林」
撮影者：諸澤健司
撮影場所：新治市民の森



H29年度「舞降りる平和の使い」
撮影者：大塚英夫
撮影場所：小山町観護寺近く

緑区の伝統文化・民俗

回り地蔵

回り地蔵(廻り地蔵ともいう)は江戸時代から続く風習ですが、現在は神奈川県内では緑区白山のほか、泉区下飯田と都筑区池辺町、港北区新羽町の計4か所のみで行われています。平成25年には横浜市無形民俗文化財に指定されています。

子どもを護り救う仏と信じられている地蔵を厨子に入れ、背負いながら各家を持ち回ります。白山地区の「回り地蔵」は1つの家庭に1週間から10日間程度、他の地域では1か月程度、その家がお供えをしてお地蔵様の世話をします。



ドンド焼き

ドンド焼きは、お正月の神祭りに用いた材料を燃やすことで年神を空に送り、その年の招福や厄払いを願うものです。地域によってはドンドン焼きやサイト払いなどさまざまな呼び方があります。

また、この火で焼いた団子を食べると健康でいられ、書初めなどを燃やすと上達するといわれています。



カセドリと寺山の短冊

カセドリとは、年の変わり目などに家々を訪問し、その土地に祝福と豊穡をもたらすとされる来訪神行事です。緑区では小正月になると仮装した子どもたちがミニチュアの農具などを持って地域の各家を回っていました。その中でも寺山地区では珍しく、短冊に俳句を書いて持ち回っていました。

緑区では大正初期まで寺山地区や川和地区でカセドリが行われていました。



神奈川県立歴史博物館所蔵

長津田囃子・西八朔囃子・鴨居囃子・寺山はやし・梅田囃子

地域の行事や祝い事の際に演奏し華を添える、人々の生活に寄り添ったお囃子。現在でもお囃子文化を継承し、技術を高めることを目的に各地区で保存会が活躍しています。



撮影者：岩間 茂次

地神講

五穀豊穡などの祈りを込めて、農家では同一の信仰を持つ人々による結社である「講」で地神を祀る風習があります。年2回、彼岸の中日の春分の日と秋分の日には、地神様が土から出られるとされ、畑仕事を休んでお日待(日の出を待って夜明かしをすること)をします。この際に「ヤド」と呼ばれる当番の家には地神様の掛け軸が持ち回られます。



花籠の舞

参勤交代のため鎌倉街道を大名行列が通る際に、槍の舞が行われました。この槍の舞を表現して、「花籠の舞」として引き継がれています。

舞では4つの花籠が1組となって華やかに花が乱舞します。この伝統をいつまでも残すために、中山町では平成12年から「子ども用花籠」も新たに始めました。



緑区音頭

緑区の地域連携を深めるとともに、区の活性化を図ることで区全体のイメージアップをすることを目的に、平成9年に作られました。

作曲は歌手の山本譲二さん、歌詞は区民公募の中から選考委員会で決定しました。



【参考文献】
『横浜「緑区史」』昭和61年12月発行 緑区史刊行委員会発行
『わが町の昔と今 緑区編』平成15年1月発行 岩田忠利 著

地域のいきい 緑区の公園

緑区の公園と愛護会

横浜市内には公園が2,600か所以上あり、面積は横浜スタジアムの約600個分に相当します。

公園には、遊び場として整備された公園や運動広場、植物や動物など自然に近い公園など、用途に応じたさまざまな種類があります。

一方、誰もが集い、憩い、楽しむために作られた公共の場所であるとともに、地震が発生した際、自宅が危険な状態な時に避難する「いっとき避難場所」という役割も担っています。

横浜のほとんどの公園では、公園愛護会が結成されており、公園の清掃活動などを行っています。令和元年8月現在、緑土木事務所では、5種類、148公園を管理しています。そのうち136公園で愛護会が結成されています。(総面積440,164㎡)



緑区の公園

※緑土木事務所が管理している公園

種類	概要	公園数	面積 (㎡)	愛護会数
街区公園	家から歩いて行ける距離にある砂場やブランコなどがある身近な公園。	136	263,421	126
近隣公園	街区公園より大きく、広場などを備えた公園。	8	117,980	8
地区公園	近隣公園より大きい公園 (区内)	1 (霧が丘公園)	39,860	1
緑道	遊歩道が整備され、四季折々の花を眺めながら散歩できる公園。	2 (長津田みなみ台緑道・中山北緑道)	17,205	2
都市緑地	良好な自然環境や景観の保全をするための緑地	1 (長津田町緑地)	1,698	0



街区公園 (十日市場石田公園)



近隣公園 (萱場公園)



緑道 (長津田みなみ台緑道)

区内にあるその他の種類の公園

- 運動公園 (長坂谷公園)
- 総合公園 (新治里山公園、玄海田公園)
- 風致公園 (北八朔公園、県立四季の森公園)

緑土木事務所で行っている公園の維持管理

緑土木事務所が管理している公園について、愛護会に関する事、利用マナーに関する事、施設の補修、改良工事、樹木の剪定・刈込、草刈などの対応を行っています。

定期的に行っていること

草刈・刈込	一定の広さがある公園について、草刈(年1~2回程度)、ツツジ類を中心とした刈込(年1回程度)を実施しています。
樹木の剪定	3年に1回程度実施しています。
施設点検	年4回、公園の施設・遊具点検を実施しています。そのうち年1回は詳細な遊具点検を実施しています。
改良工事	ブランコや鉄棒などの鋼製遊具は設置から15年を経過したあたりから、木製遊具は設置から10年を経過したあたりから、状況を見ながら順次交換しています。出入口や水飲みのバリアフリー対応、広場の排水改良、柵の再塗装などは状況や予算に応じて実施しています。



施設点検



改良工事

公園愛護会とは

横浜市の公園愛護会制度は、全国に先駆けて昭和36年に創設されました。現在では全国多くの都市で同様の制度が導入されています。

市民の憩いの場である公園の管理、活用に関して、地域においてその中心的な役割を果たす団体として、公園周辺の住民の皆さんが公園愛護会を結成しています。横浜市では約9割の公園で愛護会が活動しています。



公園愛護会の活動

愛護会の活動は、公園の利用など地域の活性化や地域のまちづくりに大きく貢献しています。公園清掃に加え、花壇の設置やイベント企画、マナー指導、公園の見守り活動など、区民に公園を安心して利用してもらえるような取組をお願いしています。



緑区遺産

緑区遺産とは、区内に現存する有形の歴史的・自然的・文化的資源で、その価値が地域に認められているものです。

令和元年10月1日時点で、18か所が登録されています。緑区で活動している団体の皆さんによる新規の登録を募集しています。



詳しくは

緑区遺産 検索



① 緑新栄会界碑

昭和40年代頃から形成された、昭和の雰囲気を残す飲み屋街です。レトロな街並みや看板、狭く入り組んだ道などが雰囲気を演出しています。



② 久保谷戸 お滝様



かつては水が流れていた滝で、文政4年の大かんばつの際には祈願成就したと伝えられています。今もこの地域を見守っています。

③ 東本郷第一公園からの山岳展望



冬の晴れた日などには、富士山、北岳、間ノ岳の国内標高上位三つの山を見ることができます。年2回(2月・10月)ダイヤモンド富士も見られます。

④ 白山神社の碑

昭和12年1月に竣工された社殿の記念碑として撰書。白山神社が関東大震災などで荒廃したこと、それを地域が再興したこと、当時の神域に対する畏敬の念などが記されています。



⑤ 鴨居杉山神社の絵馬



160年以上前に奉納され、現在は鴨居杉山神社奉賛会に保存・管理されています。通常は非公開ですが、正月1日～3日、杉山神社祭礼や七五三の際に公開しています。

⑥ ごはん塚



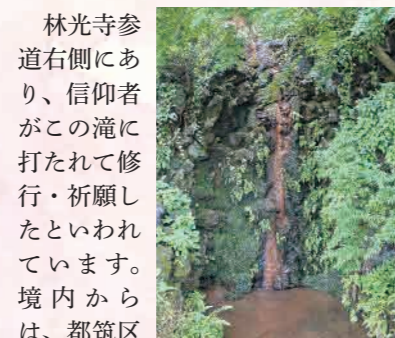
「鶴ヶ峰の合戦」において、畠山重忠が北条氏に敗れた際、深谷に逃げ戻る途中の郎従が北条氏の追撃により討ち取られた地です。名前の由来については諸説あります。

⑦ 鴨居原辻山の庚申塔



鴨居駅から鴨居原遺跡を通り上菅田、羽沢、和田へ通じる道と、小机から白根、長津田に通じる道の交差点に建てられた庚申塔で庚申信仰の象徴となっています。

⑧ 奇利吹の瀧



林光寺参道右側にあり、信仰者がこの滝に打たれて修行・祈願したといわれています。境内からは、都筑区方面の眺めも良く、桜や藤の花が素晴らしいです。

⑨ 恩田川の念仏橋跡



小山橋は、以前は「念仏橋」と呼ばれていました。室町時代に、観護寺の住職であった印融法印が托鉢の往来のため、土橋を建設したのが始まりと伝えられています。

⑩ 念珠坂

梅田の坂下から三保念珠坂公園等へ上る坂です。榎下に抜ける古道のひとつで、狭く急な坂道に苦労したことが偲ばれます。



⑪ 餅塚



上の原公園内にある塚で、老婆が脇で餅を売っていたと言われることが地名の由来ともいわれています。眺望もよく、桜が満開になる春はとてよい景観が見られます。

⑫ 高尾山



区内で最も高い山で標高は100.46mあります。山頂には、養蚕の神様「飯縄(いづな)神社」が祀られ、大山・丹沢・富士・箱根・秩父方面の眺望が素晴らしいところです。

⑬ 横浜線の岩川橋梁



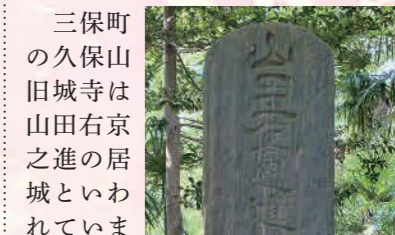
横浜鉄道(現JR横浜線)に架かる石積橋梁です。関東大震災にも耐えるほどの強度を持ち、横浜鉄道開業から100年以上経った今も現存する数少ない近代土木遺産です。

⑭ 旧大道と神奈川道分岐の道標



旧大道と十日市場方面へ分岐するところにある道標です。当時の交通標識の類のもので、大道や神奈川宿などに行き交う人々の案内となっていたといわれています。

⑮ 山田右京之進城址碑



三保町の久保山旧城寺は山田右京之進の居城といわれています。昭和初期に神奈川県下名勝史蹟四十五佳選に当選し、記念碑として贈呈されました。

⑯ 杉沢堰



梅田川にある堰で、昭和初期では貴重なコンクリート製でした。景観上貴重な土木遺産として、横浜市の歴史的建造物にも登録されています。

⑰ 神明谷戸 お滝様



梅田川に築かれた灌漑用水の取水堰に祀られている水神像です。三保町神明谷戸地区での稲作で不可欠な水が絶えぬ事を祈っています。

⑱ 大道道標



幕末に梅田講中によって建てられた庚申塔です。大道へ進む人が農地で行き止まりとなっている道と間違えないための道標となりました。

第4章 緑区のいま・むかし

緑区の今昔写真

緑区制50周年に合わせ、区民の皆さんに御提供いただいた多数の貴重な写真を、今の風景とともに紹介します。緑区の昔と今を比較したり、昔懐かしい風景を振り返ったりしてみませんか。(敬称略)

緑区にある駅のあゆみ

長津田駅

長津田駅は明治41年の横浜線開通時からある駅です。

十日市場駅

十日市場駅は地元からの要望により、昭和54年に鴨居駅に次いで開業した駅です。

▶昭和初期の長津田駅



撮影者：不明、緑区役所所蔵(昭和初期)

▶開業当時の東急長津田駅



撮影者：不明、東急長津田駅所蔵(昭和41年)

▶開業当時の十日市場



撮影者：不明、十日市場町自治会所蔵(昭和54年)



現在



現在



現在

中山駅

明治41年に横浜線開通時に開業しました。平成20年には市営地下鉄グリーンラインが開通しました。

▶中山駅複線開通



撮影者：岩間 茂次(昭和53年)



現在

鴨居駅

鴨居駅は地元住民が寄付をつりの開業した請願駅です。3代目にあたる現在の鴨居駅は平成10年に改修されました。

▶初代鴨居駅開業



提供者：柳下 勤(昭和37年)

▶2代目鴨居駅



撮影者：不明、緑区役所所蔵(昭和58年)



現在

長津田

▶御野立所から長津田駅方面



撮影者：荻野 富蔵 提供者：荻野 稔
撮影場所：御野立所 撮影時期：昭和40年頃



現在

▶長津田小学校の跡地



撮影者：千原 康夫 撮影場所：現・大林寺山水閣
撮影時期：昭和52年



現在

▶開発前の馬の背



撮影者：岡部 豊 撮影場所：現ライフプラザ新緑の
崖の上 撮影時期：昭和39年



現在

十日市場

▶十日市場駅南側



撮影者：不明 所蔵：十日市場町自治会
撮影場所：十日市場駅南側 撮影時期：昭和54年



現在

▶日向山神社の曳家工事



撮影者：千原 康夫 撮影場所：日向山神社前
撮影時期：昭和48年



現在

▶旧十日市場中学校横の桜並木



撮影者：山口 等 撮影場所：現十日市場小学校付近
撮影時期：昭和50年



現在

中山駅南側

▶中山商店街(台村町交差点方面)



撮影者：不明 所蔵：横浜市市史資料室
撮影場所：中山商店街 撮影時期：昭和40年



現在

▶中山駅西側周辺



撮影者：扇谷克幸 撮影場所：旧緑公社の共同住宅
(現マルダイスクエア) 撮影時期：昭和41年



現在

▶中山駅周辺



撮影者：扇谷克幸 撮影場所：旧緑公社の共同住宅
(現マルダイスクエア) 撮影時期：昭和41年



現在

鴨居

▶旧鴨池人道橋



撮影者：不明 所蔵：緑区役所
撮影場所：鴨居駅 撮影時期：昭和51年頃



現在

▶田園風景in白山町



撮影者：磯貝扶二男 撮影場所：白山堂山
撮影時期：昭和38年



現在

▶東本郷一丁目造成直後の家



撮影者：遠藤勝 撮影場所：東本郷一丁目
撮影時期：昭和40年



現在

中山駅北側

▶中山駅北口ロータリー



撮影者：柳澤美光 撮影場所：中山駅北口
撮影時期：昭和58年



現在

▶旧山下小学校



撮影者：千原康夫 撮影場所：旧山下小学校(現・
山下地域交流センター) 撮影時期：昭和59年



現在

▶西八朔町から眺めた冬の丹沢連峰



撮影者：片山英一 所蔵：緑図書館
撮影場所：西八朔町 撮影時期：昭和59年



現在

撮影協力：横浜商科大学

緑区役所のあゆみ



(昭和45年)



撮影者：不明、横浜市市史資料室所蔵(昭和47年)



現在

緑区今昔写真展

緑区制50周年を記念し、広く区民の皆さんに提供していただいた緑区の昔の
写真と、今の写真を比較する「緑区今昔写真展」を開催しました。



グリーンライン中山駅



中山地区センター



十日市場地区センター

展示会場・日程

展示会場	展示期間
グリーンライン中山駅	1月11日(金)~24日(木)
十日市場地区センター	1月29日(火)~2月12日(火)
白山地区センター	2月1日(金)~17日(日)
中山地区センター	3月1日(金)~17日(日)
緑区役所	3月4日(月)~15日(金)
緑図書館前のホール	3月12日(火)~25日(月)
長津田地区センター	3月13日(水)~27日(水)
緑区役所	4月15日(月)~26日(金)

(いずれも平成31年)

緑区制50周年のあゆみ

昭和44年 — 平成30年

昭和44年 港北区から分区し、緑区が誕生。川和町の区庁舎で業務を開始する。(人口123,262人、面積77.60km²) / 東名高速道路全面開通

昭和46年 竹山団地完成

昭和47年 緑区総合庁舎が寺山町に完成、業務開始 / 緑公会堂開設 / 三保市民の森開園

昭和48年 緑警察署開設

昭和50年 東京工業大学すずかけ台キャンパス開設(旧長津田キャンパス)

昭和54年 横浜線十日市場駅開業

昭和59年 白山ハイテクパークを整備し、先端技術の研究開発企業を誘致

昭和61年 山内支所を廃止し、緑区役所北部支所を開設 / 緑スポーツセンター開館

昭和62年 白山ハイテクパーク操業開始

昭和63年 JR横浜線全線複線化、快速運転開始 / 県立四季の森公園開園(平成2年に全面開園)

平成元年 緑区のシンボルマーク制定 / 山下小学校分校跡地に山下地域交流センターが開館 / 東洋英和女学院大学、横浜創英短期大学が開学

平成3年 川和郵便局が中山町に移転し、緑郵便局として業務開始

平成4年 横浜市行政区再編成審議会が、緑区・港北区の4分割案を答申

平成5年 長津田行政サービスコーナー業務開始(平成31年3月閉所)

平成6年 行政区再編実施により、現在の緑区(人口149,319人、面積25.42km²)、現在の港北区、青葉区、都筑区の4区誕生 / 区民投票により区の木「カエデ」区の花「シラン」が決定 / 現在の緑土木事務所開所

平成7年 緑図書館、十日市場地域ケアプラザ、老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘の複合施設開設 / 緑区休日急患診療所開所 / 横浜商科大学みどりキャンパス開設(平成21年に運動部のみの使用となる)

平成8年 区の木・区の花のデザイン制定

平成9年 区のうたの制定 / 昭和大学横浜キャンパス(旧昭和大学医療短期大学)開設

平成10年 中山地区センター、緑区社会福祉協議会、中山地域ケアプラザ等の複合施設「ハーモニーみどり」開館

平成11年 よこはま動物園ズーラシアが一次開園(平成27年ズーラシア「アフリカのサバンナ」全面オープン)

平成12年 新治市民の森開園

平成14年 市営北部斎場開設

平成15年 鴨池大橋開通

平成17年 鴨居原市民の森開園

平成18年 みどり地域活動ホーム「あおぞら」、緑区生活支援センター、緑区市民活動支援センター「みどりーむ」、地域子育て支援拠点「いっば」開設

平成20年 霧が丘複合施設「霧の里」開設 / 市営地下鉄グリーンライン開通 / 鴨居上飯田線供用開始

平成21年 緑区キャラクター「ミドリ」誕生(愛称は翌年1月に決定) / 新治里山公園・にいほる里山交流センター第1期開園(平成24年第2期開園)

平成22年 山下長津田線「白鴨トンネル」開通

平成24年 横浜創英大学開学

平成25年 緑区民文化センター「みどりアートパーク」開館

平成26年 みどりーむ新築移転 / 緑区役所耐震補強工事により本庁舎と仮設分庁舎で業務開始 / 緑区遺産第一号「緑新栄会」登録 / 中山北山田線供用開始

平成28年 緑区役所耐震補強工事完了、全課が本庁舎で業務開始

平成30年 緑区制50周年ロゴマーク、キャッチフレーズの制定

緑区のシンボルマーク



緑区制50周年のあゆみ(病院編)

年	出来事	病院数	一般診療所数
昭和44年	港北区から分区して緑区が誕生	3	74
昭和61年	緑区役所北部支所が開設される	17	185
平成7年10月	前年11月に、青葉区と都筑区が誕生して、現在の緑区になる	8	72
平成31年3月	現在	8	124

(現在以外の統計数については『横浜市統計書』より引用)

災害時に被災を免れた場合に、主に中等症の負傷者受入れについて協力いただく病院が区内に7か所あります。(開院順。開院年については、各医療機関のWebページを参照。名称は令和元年10月1日時点)

緑区災害時救急病院

開院年	病院名
昭和30年	一般社団法人日本厚生団 長津田厚生総合病院
昭和46年	医療法人社団恵生会 竹山病院
昭和48年	医療法人社団 鴨居病院
昭和55年	医療法人社団青葉会 牧野記念病院
昭和56年	医療法人社団元気会 横浜病院
昭和63年	医療法人若葉会 横浜田園都市病院
平成3年	医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院

緑消防署のあゆみ

神奈川消防署時代【昭和26年まで】

昭和20年 神奈川消防署 長津田消防出張所開設

港北消防署時代【昭和26年～昭和47年】

昭和42年 港北消防署 十日市場消防出張所開設

分区前の緑消防署【昭和47年～平成6年】

昭和47年 港北消防署から分離独立 緑消防署の開設

昭和50年 鴨居消防出張所開設

昭和59年 白山消防出張所開設

分区後の緑消防署【平成6年～令和2年3月現在】

平成6年 行政区再編成に伴い組織の分割

平成26年 緑消防署の新庁舎完成



昭和40年代の標準型ポンプ車



緑消防署新庁舎

緑区 まちの変遷

緑区では、明治41年(1908年)に生糸を輸送する目的で現在のJR横浜線が開通したのをきっかけに、区域の都市形成が始まりました。

鉄道は鶴見川に沿って通され、開通と同時に中山駅と長津田駅が開業し、鉄道駅を中心に市街地が徐々に広がっていきました。

昭和30年代に入ると、高度経済成長により都市への人口集中が顕著となり、緑区でも丘陵地が造成され、中小規模の団地開発が始まりました。

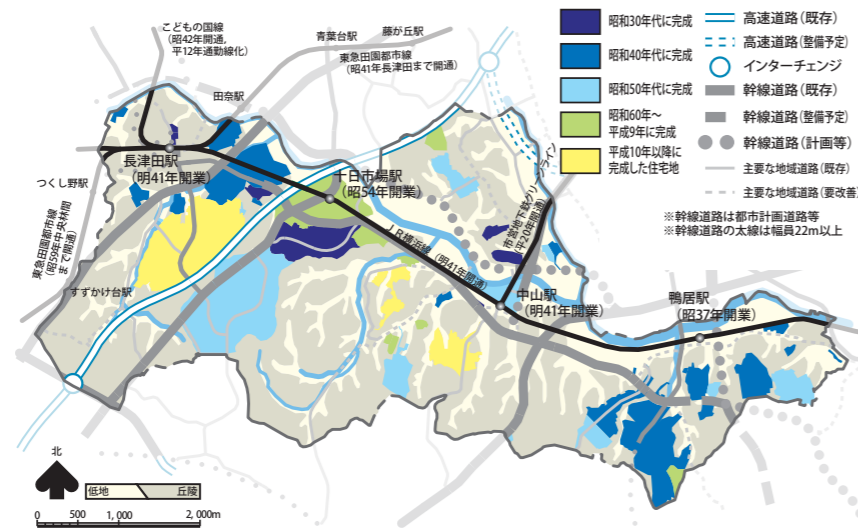
こうした中、昭和37年(1962年)に鴨居駅が地元住民の請願により開業しました。昭和40年代には大規模な土地区画整理事業などによって、さらに住宅市街地が広がっていきました。

周辺の土地区画整理事業に伴い、昭和54年(1979年)に十日市場駅が開業しました。近年においても長津田特定土地区画整理事業や、長津田駅北口地区第一種市街地再開発事業など、大規模な市街地整備が行われました。

こうした市街化の進展にともない、駅を中心として商店街が徐々に形成されていきました。また、昭和40年頃からは、上山町・青砥町・中山町の川沿いで工業集積が進み、都筑区の川向町・池辺町などとともに内陸工業地域の一端を担っていきました。昭和59年(1984年)には、横浜市が白山ハイテクパークを整備し、先端技術の研究開発企業を誘致しました。

一方、急激な市街地の拡大を受けて、昭和45年(1970年)に都市計画法による線引き(市街化区域と市街化調整区域の区分)が行われました。緑区においては、川沿いの農地一帯や丘陵地の農地及び樹林地一帯が市街化調整区域になりました。川沿いの市街化調整区域は、主に戦後の土地改良事業により良好な農地へと整備された場所です。鶴見川や恩田川の河川改修による治水機能の強化が行われ、氾濫による大きな水害もなくなりました。また、浜なしに代表される果樹園が広がるなど、都市農業が営まれてきました。

丘陵地の市街化調整区域では、谷戸や台地などにある農地の維持や自然を生かした大規模な公園の整備や市民の森の指定により、現在も自然豊かな環境が保全されています。



▲主な住宅開発の年代

出典：緑区まちづくり計画(平成26年2月)

御協賛いただいた皆様

(順不同)敬称略

 一般社団法人 横浜市緑区医師会	 医療法人 元気会 横浜病院
東本郷地区連合自治会	 ヤマト建設株式会社
 東洋英和女学院大学	 小林建設林産株式会社
新治西部地区連合自治会	株式会社久保田建設
緑区心身障害児者福祉団体連絡協議会 (緑心身連)	 中山商店街協同組合
 ナトリ電設株式会社	緑区民生委員児童委員協議会
 みんながWAPPY! JAの横浜!	 神奈川県行政書士会 緑支部
株式会社丸産技研 MARUSAN®	横塚 靖子
緑区新年賀詞交換会実行委員会	三保地区連合自治会
鴨居連合自治会	小林 良之
緑区私立保育園 園長一同	霧が丘連合自治会
株式会社十栄	 iwakawaen landscape gardening
井上 敏正	 長津田商店街協同組合
株式会社三堀	第2590地区 Rotary 横浜緑ロータリークラブ
 土志田建設	白山ハイテクパーク六社会 小野測器・JVC ケンウッド・ジャーマンインダストリーパーク・ 昭和オプトロニクス・東京計装・村田製作所
 KYOCERA	山下連合自治会

緑防犯協会		新治中部地区連合自治会	
公益社団法人 緑法人会		緑区連合自治会長会	
大村 高			
株式会社クリエート	緑区獣医師会	株式会社武藤電機	
神奈川県LPガス協会 横浜北支部	昭和大学 保健医療学部	竜南土木工業株式会社	
株式会社テイクフォー	JALA 株式会社 日本アメニティライフ協会	株式会社北芝建設	
株式会社遠藤製作所	横浜新緑総合病院	横浜創英大学 横浜翠陵 中学校	
アジア物性材料株式会社 NIPPON RARE METAL, INC.	株式会社スリーオークス	ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区 3R-3Z 横浜みどりライオンズクラブ	
株式会社横浜ドリームライン	白山地区連合自治会	緑区商店街連合会	
神奈川新聞社	横浜銀行 CONCORDIA	長津田厚生総合病院	
緑区薬剤師会	郵便局	牧野記念病院	
横浜市緑区社会福祉協議会	株式会社霧が丘ガレージ	緑区青少年指導員連絡協議会	
緑火災予防協会	株式会社チュウパチ	大東株式会社	
十日市場団地連合自治会	長津田自治連合会	緑遊技場組合	
一幸電子工業株式会社	牧野 和敏	横浜建設業協会緑区会	
清光社	ウコー建設	神奈川県宅地建物取引業協会 横浜北支部	
東急			
学校法人 横浜商科大学	株式会社堀口工業所	相鉄バス株式会社	株式会社ジェス
株式会社 エンディングナビゲーター	医療法人社団 鴨居病院	横浜商工会議所 みどり支部	宗教法人 東観寺
東京ガス株式会社 横浜支店	株式会社きらぼし銀行 長津田支店・中山支店	一般財団法人 なかやまラプニール まちづくり記念財団	高野山真言宗 舊城寺
緑保護司会	ホンダカーズ横浜北	緑とコミュニティーグループ	有限会社串田設備
有限会社河原製作所			

東急電鉄株式会社 長津田駅	一般社団法人 みどり青色申告会	ワコー緑建株式会社	野島 浩司	よこはま緑の推進団体 緑区連絡会	緑区食品衛生協会
グループホーム 水車の里	一般社団法人 横浜市建設コンサルタント協会	熊倉 利男	株式会社日建産業	緑交通安全協会	緑安全運転管理者会
緑青少年交通安全 連絡協議会	大友 晃	緑区保健活動推進員会	平井 孝幸	日本高周波株式会社	新都市建設株式会社
特定非営利活動法人 教育支援協会南関東	横浜交通開発 株式会社	宮内建設株式会社	株式会社こくぼ	有限会社真全	社会福祉法人自修会 特別養護老人ホーム慶星園
佐藤 英一	小島 薫	オサ機械株式会社	三田 修	三井住建道路株式会社 関東支店南関東営業所	特定非営利活動法人 横浜シュタイナー学園
鴨居駅周辺まちづくり 研究会	医療法人社団桜栄会 介護老人保健施設 横浜セラトピア	NPO法人 Kids Dance Jam	株式会社 ミロク精機製作所	社会福祉法人中川徳生会 特別養護老人ホームピオラ三保	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 横浜市長津田地域ケアプラザ
宗教法人 極楽寺	ミモザ横浜霧が丘	メディカルコア十日市場	社会福祉法人 藤雪会	ヒルズ横浜ガーデン ホームズ自治会	十日市場ヒルタウン 第二自治会
株式会社ジョイライフ	杉山 郡啓	社会福祉法人 奉優会 横浜霧が丘地域ケアプラザ	社会福祉法人 神奈川県済会 横浜市十日市場地域ケアプラザ	緑区中学校長会	横浜市緑区歯科医師会
海内工業株式会社	特定非営利活動法人 建物管理ネットワーク 横浜市白山地区センター	フジッコ株式会社 横浜工場	さかたに小児科	社会福祉法人 清光会 横浜市鴨居地域ケアプラザ	社会福祉法人 兼愛会 特別養護老人ホームしゅうじゅうの里三保
サザンヒルズ竹山 自治会	社会福祉法人 みどりの風 介護老人保健施設 みどりの杜	緑間税会	山下工業株式会社	社会福祉法人横浜YMCA福祉会 横浜市東本郷地域ケアプラザ	医療法人若葉会 横浜田園都市病院
ケアセンター メゾンヴェルト	加藤電機株式会社	宝電機工業株式会社	津田 祐孝	有限会社優心会 グループホーム あかり	ティエスエス株式会社
犬飼 知恵子	緑区更生保護女性会	滝川 誓子	濱中 正利	緑区小学校長会	株式会社高久不動産
堀内 衛	社会福祉法人神奈川県済会 老人福祉センター 横浜市緑ほのぼの荘	神奈川中央交通株式会社 中山営業所	緑区消費生活推進員の会	株式会社アドバンス	緑納税貯蓄組合連合会
税理士法人 岸会計	東急バス株式会社 青葉台営業所	緑区PTA連絡協議会	横浜信用金庫 中山支店・ 鴨居支店・十日市場支店	中山町自治会	NPO法人みどりIT コミュニティサポーターズ
横濱おなか診療所	竹山団地中央商店会	十日市場ヒルタウン 第九自治会	中山駅北口3自治会	緑区子ども会連絡協議会	ユニー株式会社 アピタ長津田店
株式会社マルエイ 横浜支店	緑区スポーツ推進委員 連絡協議会会長会	中国料理 中山飯店	寺山町自治会	谷岸 美砂子	竹山連合自治会
竹山一丁目自治会	竹山二丁目自治会	竹山三丁目自治会	竹山四丁目自治会	鴨居商栄会	勝田化工株式会社 横浜工場
デイホーム東本郷	長津田台自治会	長津田辻自治会	中村自治会	御前田自治会	御前田西自治会
御幸通り自治会	長津田東向地自治会	東向地団地自治会	長津田杉山原自治会	下長津田自治会	あざみ自治会
長津田緑自治会	県営長津田団地自治会	長津田団地自治会	長津田ニュータウン 自治会	南長津田団地自治会	ライオンズマンション 長津田第三自治会
上の原グリーンハイツ 自治会	あさやま自治会	長津田スカイハイツ 自治会	ライム長津田自治会	パークスクエア長津田 フェスタコリーナ自治会	ウォルトンズコート 長津田自治会
プリマシティ自治会	グランシーナ田園都市 自治会	サンクタシティ長津田 みなみ台レジデンス自治会	サンクタシティ長津田 みなみ台カーサ自治会	長津田マークタウン 自治会	緑区老人クラブ連合会
緑区体育協会	横浜市建築士事務所協会 緑支部	日本ボーイスカウト・ ガールスカウト 緑区連絡会	東京地方税理士会 緑支部	藤井 千佳	十日市場ヒルタウン 第三自治会
有限会社福寿庵	不動産の三和産業 株式会社	谷津田原商栄会	台村・森の台自治会	緑・事業所防犯協会	クレールレジデンス 横浜十日市場
霧が丘商店会	桜井 浩和	梶谷 剛朗	横浜市民共済生活協同組合 中山普及サービスセンター	株式会社トーエル	

(令和元年10月1日現在。敬称略。同一役職内の下段は前任者)

緑区制50周年記念事業実行委員会名簿

実行委員会役職名	団体名および役職名	氏名
委員長・ 区民まつり部会長	緑区連合自治会長	会長 塚田 順一
副委員長	緑区体育協会	会長 杉山 郡啓
	緑区商店街連合会	会長 奥津 守 加藤 龍昭
	緑区民生委員児童委員協議会	会長 横塚 靖子
	緑交通安全協会	会長 鈴木 正雄 岩岡 紀一
総務部会長	長津田自治連合会	会長 井上 敏正
記念事業部会長	鴨居連合自治会	会長 木村 越
会計	緑区青少年指導員連絡協議会	会長 松浦 正義
	緑区老人クラブ連合会	会長 中野 喜久一
監事	横浜市緑消防団	団長 岡部 一郎
	緑区子ども会連絡協議会	会長 野中 文子
委員	東本郷地区連合自治会	会長 名取 隆司 山口 武彦
	竹山連合自治会	会長 大谷 務
	白山地区連合自治会	会長 山口 章
	新治中部地区連合自治会	会長 臼井 孝一 相原 磯光
	山下連合自治会	会長 篠崎 慧
	三保地区連合自治会	会長 土志田 誠人
	新治西部地区連合自治会	会長 松浦 正義(再掲) 田中 賢
	十日市場団地連合自治会	副会長 川村 武子 会長 宮本 増穂
	霧が丘連合自治会	会長 塚田 順一(再掲)
	緑区社会福祉協議会	会長 井上 敏正(再掲)
	緑保護司会	会長 木村 升
	緑区心身障害児者福祉団体連絡協議会	会長 市木 智子
	日本ボーイスカウト・ガールスカウト緑区連絡会	会長 磯辺 磨梨子
	緑区環境事業推進委員連絡協議会	会長 石井 作治郎
	横浜農業協同組合 新治支店	支店長 海野 泰 重田 孝幸
	横浜農業協同組合 長津田支店	支店長 杉田 明 榊原 長則
	一般社団法人 横浜北工業会 緑・青葉支部	支部長 向後 英夫
	横浜商工会議所 みどり支部	支部長 河原 裕典
	横浜市中央農業委員会	会長職務代理者 守谷 弘
	緑区食品衛生協会	会長 三谷 英雄 杉崎 孝一
	横浜建設業協会 緑区会	会長 平田 恵介 中鉢 誠一
	神奈川県LPガス協会 横浜北支部	支部長 白井 久美 長瀬 進
	公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会 横浜北支部	支部長 岡田 日出則
	緑防犯協会	会長 土志田 誠人(代行・再掲) 相原 磯光(再掲) 田中 賢(再掲)
	緑・事業所防犯協会	会長 村松 勇治
	緑安全運転管理者会	会長 川島 健
	緑青少年交通安全連絡協議会	会長 平田 恵介(再掲)
	緑火災予防協会	会長 小林 成弘 鈴木 正光
	緑区PTA連絡協議会	会長 名取 勲 秋山 英樹 島田 潤
	緑区小学校長会	代表 川井 伸司 小林 広昭 三上 令子

実行委員会役職名	団体名および役職名	氏名	
委員	緑区中学校長会	代表 手島 史喜 八木 範夫	
	緑区スポーツ推進委員連絡協議会	会長 平井 孝幸	
	緑区保健活動推進員会	会長 勝田 睦子	
	一般社団法人 横浜市緑区医師会	会長 二宮 浩 池田 信之	
	緑区歯科医師会	会長 遠見 治	
	緑区薬剤師会	会長 塩田 修司	
	緑区獣医師会	会長 草場 翔央 千葉 隆史 館野 尚基	
	緑区食生活等改善推進員会	会長 山村 藤子 狩山 千佳子	
	公益社団法人 緑法人会	副会長 串田 賢司	
	緑納税貯蓄組合連合会	会長 田中 良和 岸 蔚	
	一般社団法人 みどり青色申告会	副会長 戸澤 明	
	東京地方税理士会 緑支部	支部長 石渡 稔之 細谷 佳世	
	緑間税会	副会長 中山 恭男	
	緑区消費生活推進員の会	代表 前田 實 八木 恵美	
	横浜みどりライオンズクラブ	49期会長 三好 吉典 48期会長 浅井 悦男 47期会長 久保田 眞吾	
	横浜緑ロータリークラブ	2015-16年度会長 露木 健造	
	一般財団法人 なかやまラプニールまちづくり記念財団	理事長 相原 征雄 相原 勤	
	参与	東京電力パワーグリッド株式会社 鶴見支社	支社長 柳瀬 徹 藤家 美奈子
		東京ガス株式会社 神奈川支社	支社長 小和田 祐子 中山 潔
		東日本旅客鉄道株式会社 長津田駅	駅長 石黒 功 望月 章成
		東急電鉄株式会社 長津田駅	駅長 組谷 和夫 大和 幸雄
		神奈川中央交通株式会社 中山営業所	所長 多田 稔
		相鉄バス株式会社 旭営業所	所長 福田 有二
		横浜交通開発株式会社 緑営業所	所長 小尾 文男 榎下 陽一郎
県立四季の森公園管理事務所		所長 中村 透	
緑警察署		署長 磯野 正彦 阿部 篤	
緑消防署		署長 中村 榮宏 星川 正幸	
鴨居駅前郵便局		局長 小原 伸士 小林 順子(緑郵便局長) 宮崎 登(緑郵便局長)	
緑区役所		区長 小野崎 信之	
緑区役所		副区長 三瓶 一道 林 昭宏	
緑福祉保健センター(緑区役所)		センター長 室谷 洋一 小口 秀明	
緑福祉保健センター(緑区役所)		担当部長 市川 一弘 豊 基信	
緑土木事務所(緑区役所)		所長 関戸 義仁	
顧問		横浜市議員	鴨志田 啓介
		横浜市議員	今野 典人
		横浜市議員	高橋 正治
		横浜市議員	斉藤 達也
		神奈川県議会議員	柳下 剛
		神奈川県議会議員	古賀 照基

本記念誌は、
緑区役所各課、緑土木事務所、
緑消防署、そのほか大勢の皆さんの
御協力により作成しました。
ありがとうございました。



緑区制50周年記念誌

発行 令和2年3月
緑区制50周年記念事業実行委員会
事務局 緑区役所区政推進課広報相談係
〒226-0013
横浜市緑区寺山町118番地
電話 045-930-2220
FAX 045-930-2225

編集・デザイン
株式会社タウンニュース社
〒225-0014 横浜市青葉区荏田西2-1-3 電話 045-913-4111(代)

印刷・製本
株式会社大川印刷
〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町2053 電話 045-812-1131(代)

表紙 新治市民の森の谷戸田
裏表紙 50周年Facebookカウントダウンに登場してくれた皆さん(抜粋)



ノンVOCインキ(石油系溶剤0%)など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーン
プリンティング認定工場にて、印刷事業において発生するCO₂全てをカーボンオフセット
(相殺)した「ゼロカーボンプリント」で印刷しています。

